

教科：	国語	科目：	現代の国語	単位数：	2
対象年次・クラス：	1年次				
教材：	教科書	高等学校 新編現代の国語（第一学習社）			
	補助教材	セレクト漢字検定 5級―2級 確認と演習（桐原書店） プリント ICT機器			
教科目標	【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】
	漢字の読み書き、言葉の意味や用例を活用し、文章表現ができる。		・話の展開を理解し、内容を要約できる。 ・他者と対話し、共感したり、意見の違いに気づくことができる。		・疑問や興味を持った言葉、作者、作品について調べることができる。
科目目標	【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】
	筆者の主張とそれを支える根拠について考え、その説得力について自分の考えを持つ。		筆者の主張を踏まえて、今の時代をどのように生きていくか、高校生活で何に取り組むかなどについて、自分の考えを深める。		筆者の主張に対して積極的に自分の意見を述べ、「現代の国語」の学習について具体的な抱負をもとうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価基準	知	思	態	配当時数
			国・語	書・読					
1学期	単元 1 「未知はいくらでもある」	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	次の観点別評価基準により評価する。	○	○	○	6
	【知識及び技能】	・指導事項			【知識及び技能】				
	言葉の意味を理解し、スムーズに音読ができる。	読解			本文に使用されている感じや語彙を理解している。				
	【思考力、判断力、表現力等】	・教材			【思考力、判断力、表現力等】				
	筆者の主張を理解した上で、それを簡潔に表現したり、自己の言葉で置き換えることができる。	教科書、オリジナルテキスト			筆者の「未知」への考えに対し、構造や表現から理解を深めている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	○	○	【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	7
	筆者の主張を、自己の経験と照らし合わせて考えさせる。	意見交換			本単元の学習のまとめに対し、主体的に取り組んでいる。				
	単元 2 ナマケモノになる	指導項目に対し、次の教材等を活用する。			次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項			【知識及び技能】				
	言葉の意味を理解し、スムーズに音読ができる。	読解			本文に使用されている感じや語彙を理解している。				
	【思考力、判断力、表現力等】	・教材			【思考力、判断力、表現力等】				
	筆者の主張を理解した上で、それを簡潔に表現したり、自己の言葉で置き換えることができる。	教科書、オリジナルテキスト			筆者の「ナマケモノ」への考え方に対し、構造や表現から理解を深めている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）			【主体的に学習に取り組む態度】				
	筆者の主張を、自己の経験と照らし合わせて考えさせる。	意見交換			本単元の学習のまとめに対し、主体的に取り組んでいる。				
	定期考査（1学期中間考査）								1
2学期	単元 3 言語としてのピクトグラム	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	次の観点別評価基準により評価する。	○	○	○	6
	【知識及び技能】	・指導事項			【知識及び技能】				
	言葉の意味を理解し、スムーズに音読ができる。	読解			本文に使用されている感じや語彙を理解している。				
	【思考力、判断力、表現力等】	・教材			【思考力、判断力、表現力等】				
	筆者の主張を理解した上で、それを簡潔に表現したり、自己の言葉で置き換えることができる。	教科書、オリジナルテキスト			筆者の「ピクトグラム」への考えに対し、構造や表現から理解を深めている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	○	○	【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	7
	筆者の主張を、自己の経験と照らし合わせて考えさせる。	意見交換			本単元の学習のまとめに対し、主体的に取り組んでいる。				
	単元 4 言葉の海のオノマトペ	指導項目に対し、次の教材等を活用する。			次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項			【知識及び技能】				
	言葉の意味を理解し、スムーズに音読ができる。	読解			本文に使用されている感じや語彙を理解している。				
	【思考力、判断力、表現力等】	・教材			【思考力、判断力、表現力等】				
	筆者の主張を理解した上で、それを簡潔に表現したり、自己の言葉で置き換えることができる。	教科書、オリジナルテキスト			筆者の「オノマトペ」への考えに対し、構造や表現から理解を深めている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）			【主体的に学習に取り組む態度】				
	筆者の主張を、自己の経験と照らし合わせて考えさせる。	意見交換			本単元の学習のまとめに対し、主体的に取り組んでいる。				
	定期考査（1学期期末考査）								1

教科：	国語	科目：	現代の国語	単位数：	2
対象年次・クラス：	1年次				
教材：	教科書	高等学校 新編現代の国語（第一学習社）			
	補助教材	セレクト漢字検定 5級―2級 確認と演習（桐原書店） プリント ICT機器			
教科目標	【 知 識 及 び 技 能 】		【 思考力、判断力、表現力 等 】		【 学びに向かう力、人間性 等 】
	漢字の読み書き、言葉の意味や用例を活用し、文章表現ができる。		・話の展開を理解し、内容を要約できる。 ・他者と対話し、共感したり、意見の違いに気づくことができる。		・疑問や興味を持った言葉、作者、作品について調べることができる。
科目目標	【 知 識 及 び 技 能 】		【 思考力、判断力、表現力 等 】		【 学びに向かう力、人間性 等 】
	筆者の主張とそれを支える根拠について考え、その説得力について自分の考えを持つ。		筆者の主張を踏まえて、今の時代をどのように生きていくか、高校生活で何に取り組むかなどについて、自分の考えを深める。		筆者の主張に対して積極的に自分の意見を述べ、「現代の国語」の学習について具体的な抱負をもとうとしている。

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	領 域			評 価 基 準			知	思	態	配当時数
			国・語	書	読							
2 学 期	単元 5 十六歳のとき	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価基準により評価する。			○	○	○	7
	【知識及び技能】 言葉の意味を理解し、スムーズに音読ができる。	・指導事項 読解				【知識及び技能】 本文に使用されている感じや語彙を理解している。						
	【思考力、判断力、表現力 等】 筆者の主張を理解した上で、それを簡潔に表現したり、自己の言葉で置き換えることができる。	・教材 教科書、オリジナルテキスト				【思考力、判断力、表現力 等】 筆者の「若者の挑戦」への考えに対し、構造や表現から理解を深めている。						
	【学びに向かう力、人間性 等】 筆者の主張を、自己の経験と照らし合わせて考えさせる。	・一人1台端末の活用（場面） 4				【主体的に学習に取り組む態度】 本単元の学習のまとめに対し、主体的に取り組んでいる。						
	単元 6 臆病な詩人、街へ出る	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価基準により評価する。			○	○	○	8
	【知識及び技能】 言葉の意味を理解し、スムーズに音読ができる。	・指導事項 読解				【知識及び技能】 本文に使用されている感じや語彙を理解している。						
	【思考力、判断力、表現力 等】 筆者の主張を理解した上で、それを簡潔に表現したり、自己の言葉で置き換えることができる。	・教材 教科書、オリジナルテキスト				【思考力、判断力、表現力 等】 筆者の「気遣い」への考え方に対し、構造や表現から理解を深めている。						
	【学びに向かう力、人間性 等】 筆者の主張を、自己の経験と照らし合わせて考えさせる。	・一人1台端末の活用（場面） 意見交換				【主体的に学習に取り組む態度】 本単元の学習のまとめに対し、主体的に取り組んでいる。						
	定期考査（1学期中間考査）											1
	単元 7 「弱いロボット」の誕生	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価基準により評価する。			○	○	○	7
	【知識及び技能】 言葉の意味を理解し、スムーズに音読ができる。	・指導事項 読解				【知識及び技能】 本文に使用されている感じや語彙を理解している。						
	【思考力、判断力、表現力 等】 筆者の主張を理解した上で、それを簡潔に表現したり、自己の言葉で置き換えることができる。	・教材 教科書、オリジナルテキスト				【思考力、判断力、表現力 等】 筆者の「弱いロボット」への考えに対し、構造や表現から理解を深めている。						
	【学びに向かう力、人間性 等】 筆者の主張を、自己の経験と照らし合わせて考えさせる。	・一人1台端末の活用（場面） 意見交換				【主体的に学習に取り組む態度】 本単元の学習のまとめに対し、主体的に取り組んでいる。						
	単元 8 人はなぜ仕事をするのか	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価基準により評価する。			○	○	○	8
	【知識及び技能】 言葉の意味を理解し、スムーズに音読ができる。	・指導事項 読解				【知識及び技能】 本文に使用されている感じや語彙を理解している。						
	【思考力、判断力、表現力 等】 筆者の主張を理解した上で、それを簡潔に表現したり、自己の言葉で置き換えることができる。	・教材 教科書、オリジナルテキスト				【思考力、判断力、表現力 等】 筆者の「仕事」への考えに対し、構造や表現から理解を深めている。						
	【学びに向かう力、人間性 等】 筆者の主張を、自己の経験と照らし合わせて考えさせる。	・一人1台端末の活用（場面） 意見交換				【主体的に学習に取り組む態度】 本単元の学習のまとめに対し、主体的に取り組んでいる。						
	定期考査（1学期期末考査）											1

科目 目 標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	筆者の主張とそれを支える根拠について考え、その説得力について自分の考えを持つ。	筆者の主張を踏まえて、今の時代をどのように生きていくか、高校生活で何に取り組むかなどについて、自分の考えを深める。	筆者の主張に対して積極的に自分の意見を述べ、「現代の国語」の学習について具体的な抱負をもとうとしている。

[illegible]

教科：	国語	科目：	言語文化	単位数：	2
対象年次・クラス：	1 年次				
教材：	教科書	高等学校 新編言語文化（第一学習社）			
	補助教材	プリント I C T 機器			

教科目標	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	漢字の読み書き、言葉の意味や用例を活用し、文章表現ができる。	・話の展開を理解し、内容を要約できる。 ・他者と対話し、共感したり、意見の違いに気づくことができる。	・疑問や興味を持った言葉、作者、作品について調べることができる。

科目目標	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技術を身に付ける。 我が国の言語文化に対する理解を深める。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、ものの見方、感じ方、考え方を深める。言葉がもつ価値への認識を深める。読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもつ。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価基準	知	思	態	配当時数
			語	書					
1 学 期	単元 1 文字を丁寧に書く 【知識及び技能】 かな、漢字を丁寧に読みやすく書くことを理解する。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 視写 書写	語	書	次の観点別評価基準により評価する。 【知識及び技能】 相手にわかりやすく伝えるために、かな、漢字を丁寧に読みやすく書くことを理解している。	○	○	○	4
	【思考力、判断力、表現力等】 バランスを考えて、自他が読みやすい字を書く工夫をすることができる。	・教材 教科書 I C T 機器			【思考力、判断力、表現力等】 字の大小や間隔を考えながら、自他が読みやすい字を書く工夫をすることができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】 文字を書くことを通して、自他の存在を意識して今後の学びに生かそうとする。	・一人 1 台端末の活用（場面） 課題提示			【主体的に学習に取り組む態度】 文字を書くことを通して、自他の存在を尊重し合って今後の学びに生かそうとしている。				
	単元 2 文学的文章を読む	指導項目に対し、次の教材等を活用する。			次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 文章中の漢字や言葉を理解することができる。	・指導事項 島の少年	語	書	【知識及び技能】 文章中の漢字や言葉を理解することができる。	○	○	○	10
	【思考力、判断力、表現力等】 文脈や展開を把握して、登場人物の心情を的確に捉えることができる。	・教材 教科書 I C T 機器			【思考力、判断力、表現力等】 文脈や展開を把握して、登場人物の心情を的確に捉えることができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く文章の展開を捉え、課題に沿って話し合うことができる。	・一人 1 台端末の活用（場面） 説明資料提示			【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く文章の展開を捉え、課題に沿って話し合うことができる。				
	定期考査（1 学期中間考査）								1
	単元 3 古文に親しむ	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	語	書	次の観点別評価基準により評価する。	○	○	○	13
	【知識及び技能】 歴史的仮名遣いや古今異義語、文語のきまりを理解する。	・指導事項 五十音図 いろはうた 児のそら寝 なよ竹のかぐや姫			【知識及び技能】 歴史的仮名遣いや古今異義語、文語のきまりを理解して古文を読んでいる。				
	【思考力、判断力、表現力等】 現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを考察し、伝え合うことができる。	・教材 教科書 I C T 機器			【思考力、判断力、表現力等】 現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを考察し、伝え合うことができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】 積極的に音読し、読み味わい、他の古典文学作品に関心を持つことができる。	・一人 1 台端末の活用（場面） 説明資料提示			【主体的に学習に取り組む態度】 内容をイメージしながら積極的に音読し、読み味わい、他の古典文学作品に関心を持つことができる。				
	定期考査（1 学期期末考査）								1

教科：	国語	科目：	言語文化	単位数：	2
対象年次・クラス：	1 年次				
教材：	教科書	高等学校 新編言語文化（第一学習社）			
	補助教材	プリント I C T 機器			

教科目標	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	漢字の読み書き、言葉の意味や用例を活用し、文章表現ができる。	・話の展開を理解し、内容を要約できる。 ・他者と対話し、共感したり、意見の違いに気づくことができる。	・疑問や興味を持った言葉、作者、作品について調べることができる。

科目目標	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技術を身に付ける。 我が国の言語文化に対する理解を深める。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、ものの見方、感じ方、考え方を深める。言葉がもつ価値への認識を深める。読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもつ。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価基準	知	思	態	配当時数
			国語	読					
2 学 期	単元 4 小説を読む	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	次の観点別評価基準により評価する。	○	○	○	8
	【知識及び技能】	・指導事項			【知識及び技能】				
	文章中の漢字や言葉を理解することができる。	・教材			文章中の漢字や言葉を理解することができる。				
	【思考力、判断力、表現力等】	教科書 I C T 機器			【思考力、判断力、表現力等】				
	文脈や展開を把握して、登場人物の心情を的確に捉えることができる。	・一人1台端末の活用（場面）	○	○	文脈や展開を把握して、登場人物の心情を的確に捉えることができる。	○	○	○	7
	【学びに向かう力、人間性等】	説明資料提示			【主体的に学習に取り組む態度】				
	粘り強く文章の展開を捉え、課題に沿って話し合うことができる。				粘り強く文章の展開を捉え、課題に沿って話し合うことができる。				
	単元 5 漢文に親しむ	指導項目に対し、次の教材等を活用する。			次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	○	○	【知識及び技能】	○	○	○	7
	漢文を読むための基礎知識を身に付ける。	・教材			基本的な返り点のについて理解できている。				
	【思考力、判断力、表現力等】	教科書 I C T 機器			【思考力、判断力、表現力等】				
	基本的な訓読文を音読し、書き下し文にすることができる。	・一人1台端末の活用（場面）			訓点に従って訓読文を正しく音読し、書き下し文にすることができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	説明資料提示	○	○	【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	8
	我が国の言語文化に影響を与えた中国の言葉や作品に関心をもち、積極的に調べたり説明したりすることができる。				我が国の言語文化に影響を与えた中国の思想や文化に関心をもち、積極的に調べたり説明したりすることができる。				
	定期考査（2学期中間考査）								1
	単元 6 古文に親しむ	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	次の観点別評価基準により評価する。	○	○	○	8
	【知識及び技能】	・指導事項			【知識及び技能】				
	歴史的仮名遣いに慣れる。古文の語彙を増やす。文語のきまりを理解する。	・教材			歴史的仮名遣いや古今異義語、文語のきまりを理解して古文を読んでいる。				
	【思考力、判断力、表現力等】	教科書 I C T 機器			【思考力、判断力、表現力等】				
	現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを考察し、伝え合うことができる。	・一人1台端末の活用（場面）	○	○	現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを考察し、伝え合うことができる。	○	○	○	7
	【学びに向かう力、人間性等】	説明資料提示			【主体的に学習に取り組む態度】				
	積極的に音読し、読み味わい、他の古典文学作品に関心をもち、調べたり説明したりすることができる。				内容をイメージしながら積極的に音読し、読み味わい、他の古典文学作品に関心をもち、調べたり説明したりすることができる。				
	単元 7 近現代の俳句に親しむ	指導項目に対し、次の教材等を活用する。			次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	○	○	【知識及び技能】	○	○	○	7
	俳句の形式を理解する。	・教材			俳句の形式や季語について理解している。				
	【思考力、判断力、表現力等】	教科書 I C T 機器			【思考力、判断力、表現力等】				
	短い表現の中のおもしろさや奥行きを考察し、自分の解釈を適切な言葉で伝え合うことができる。	・一人1台端末の活用（場面）			短い表現の中のおもしろさや奥行きを考察し、自分の解釈を適切な言葉で伝え合うことができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	説明資料提示	○	○	【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1
	積極的に鑑賞し、心を豊かにし、様々な表現に関心をもち、調べたり説明したりすることができる。				積極的に鑑賞し、心を豊かにし、様々な表現に関心をもち、調べたり説明したりすることができる。				
	定期考査（2学期期末考査）								

教科：	国語	科目：	言語文化	単位数：	2
対象年次・クラス：	1 年次				
教材：	教科書	高等学校 新編言語文化（第一学習社）			
	補助教材	プリント I C T 機器			

教科目標	【 知識 及 び 技能 】 漢字の読み書き、言葉の意味や用例を活用し、文章表現ができる。	【 思考力、判断力、表現力 等 】 ・話の展開を理解し、内容を要約できる。 ・他者と対話し、共感したり、意見の違いに気づくことができる。	【 学びに向かう力、人間性 等 】 ・疑問や興味を持った言葉、作者、作品について調べることができる。
------	---	--	---

科目目標	【 知識 及 び 技能 】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技術を身に付ける。 我が国の言語文化に対する理解を深める。	【 思考力、判断力、表現力 等 】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	【 学びに向かう力、人間性 等 】 言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、ものの見方、感じ方、考え方を深める。言葉がもつ価値への認識を深める。読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもつ。
------	---	--	--

		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領 域			評 価 基 準	知	思	態	配当時刻
				語	書	読					
3	学	単元【8】漢文に親しむ 【知識及び技能】 漢文を読むための基礎知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力 等】 基本的な訓読文を音読し、書き下し文にすることができる。 【学びに向かう力、人間性 等】 我が国の言語文化に影響を与えた中国の言葉や作品に関心を持ち、積極的に調べたり説明したりすることができる。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 格言、五十歩百歩、矛盾、唐詩 ・教材 教科書 I C T 機器 ・一人1台端末の活用（場面） 説明資料提示	○	○	○	次の観点別評価基準により評価する。 【知識及び技能】 基本的な返り点のについて理解できている。 【思考力、判断力、表現力 等】 訓点に従って訓読文を正しく音読し、書き下し文にすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 我が国の言語文化に影響を与えた中国の言葉や作品に関心を持ち、積極的に調べたり説明したりすることができる。	○	○	○	12
期		単元【9】自分の作品を書く 【知識及び技能】 表現するものを明確化できる。 【思考力、判断力、表現力 等】 効果的な伝え方を工夫し、考察することができる。 【学びに向かう力、人間性 等】 他者の表現を尊重し、自分の表現の参考にする態度を持つことができる。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 知識や体験からの素材集め、言語による表現活動 ・教材 教科書 I C T 機器 ・一人1台端末の活用（場面） 説明資料提示	○	○	○	次の観点別評価基準により評価する。 【知識及び技能】 伝えたいことがらの中身を捉え、表現するものの中心を明確にすることができる。 【思考力、判断力、表現力 等】 効果的な伝え方を工夫し、表現方法について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に伝え合い、互いの考えや表現を尊重し、自分の表現の参考にする態度を持つことができる。	○	○	○	5
		定期考査（学年末考査）									1

教科：	地理歴史	科目：	地理総合	単位数：	2
対象年次・クラス：	1 年次三修制				
教材：	教科書	高等学校 新地理総合（帝国書院）			
	補助教材	新詳高等地図（帝国書院） プリント ICT機器			

教科目標	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	・地球や地理の様相、諸問題について理解できる。	・地球や地理について、自身の考えを根拠立てて表現できている。 ・図表やグラフなどを活用して説明できる。	・授業態度や提出物等が良好である。 ・前向きに発言したり課題に取り組んだりできる。

科目目標	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	地図や地理情報システムなどの地理的な技能を身に付け、地球規模の自然システム、社会・経済システムを理解できる。	位置と分布、場所、地域などの空間概念を捉え、地理的な見方や自己の考え方をまとめ、伝えることができる。	持続可能な社会づくりに向けて、地球的課題や地域的課題の解決を模索、追究しようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1 学 期	単元 1 地球の位置と時差	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 地球の位置と時差について理解できる。	・指導事項 地球の位置、経度、緯度	【知識及び技能】 地球の位置と時差について理解できている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 緯度の違いが生活に与える影響について考察し、伝え合うことができる。	・教材 教科書、地図帳	【思考力、判断力、表現力等】 緯度の違いが生活に与える影響について考察し、伝え合うことができている。	○	○	○	6
	【学びに向かう力、人間性等】 時差と日常生活との関連を知り、関心を持って考察しようとする。	・一人1台端末の活用（場面） 説明資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 時差と日常生活との関連を知り、関心を持って考察しようとしている。				
	単元 2 地図の役割と種類	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 地図の役割について理解する。	・指導事項 様々な地図の図法	【知識及び技能】 地図の役割について理解できている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 主題図と一般集の表現技法や用途を考察することができる。	・教材 教科書、地図帳	【思考力、判断力、表現力等】 主題図と一般集の表現技法や用途を考察し、伝え合うことができている。	○	○	○	7
	【学びに向かう力、人間性等】 地図と生活との関連を知り、関心を持って考察しようとする。	・一人1台端末の活用（場面） 説明資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 地図と生活との関連を知り、関心を持って考察しようとしている。				
	定期考査（1学期中間考査）						1
	単元 3 世界の地形と人々の生活	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 大地形と人々の生活について理解できる。	・指導事項 変動帯、安定五地域 河川や海岸の地形 水河、乾燥、カルスト地形	【知識及び技能】 大地形と人々の生活について理解できている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 様々な地形と人々の生活への影響について、考察することができる。	・教材 教科書、地図帳	【思考力、判断力、表現力等】 様々な地形と人々の生活への影響について考察を深め、言葉で伝えることができている。	○	○	○	7
	【学びに向かう力、人間性等】 日常生活と地形の関連に、関心を持って調べようとする。	・一人1台端末の活用（場面） 説明資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 各地の生活と地形の関連に関心を持って調べ、まとめようとしている。				
	単元 4 世界の国々の探求	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 世界の国々の特徴を理解できる。	・指導事項 世界の国々	【知識及び技能】 世界の国々の特徴を理解できている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 世界の国々について、様々な視点から考察したり比較したりすることができる。	・教材 教科書、地図帳	【思考力、判断力、表現力等】 世界の国々について、様々な視点から考察したり比較したりして、伝え合い共有することができる。	○	○	○	6
	【学びに向かう力、人間性等】 身近な生活とのつながりなど、さらに学びを深めようとする。	・一人1台端末の活用（場面） 説明資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 身近な生活とのつながりなど、多くの国についてさらに学びを深めようとしている。				
	定期考査（1学期期末考査）						1

教科：	地理歴史	科目：	地理総合	単位数：	2
対象年次・クラス：	1 年次三修制				
教材：	教科書	高等学校 新地理総合（帝国書院）			
	補助教材	新詳高等地図（帝国書院） プリント I C T 機器			

教科目標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	・地球や地理の様相、諸問題について理解できる。	・地球や地理について、自身の考えを根拠立てて表現できている。 ・図表やグラフなどを活用して説明できる。	・授業態度や提出物等が良好である。 ・前向きに発言したり課題に取り組んだりできる。

科目目標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	地図や地理情報システムなどの地理的な技能を身に付け、地球規模の自然システム、社会・経済システムを理解できる。	位置と分布、場所、地域などの空間概念を捉え、地理的な見方や自己の考え方をまとめ、伝えることができる。	持続可能な社会づくりに向けて、地球的課題や地域的課題の解決を模索、追究しようとする。

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
2 学期	単元 4 世界の国々の探求	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 世界の国々の特徴を理解できる。	・指導事項 世界の国々	【知識及び技能】 世界の国々の特徴を理解できている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 世界の国々について、様々な視点から考察したり比較したりすることができる。	・教材 教科書、地図帳	【思考力、判断力、表現力 等】 世界の国々について、様々な視点から考察したり比較したりして、伝え合い共有することができる。	○	○	○	8
	【学びに向かう力、人間性 等】 身近な生活とのつながりなど、さらに学びを深めようとする。	・一人 1 台端末の活用（場面） 説明資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 身近な生活とのつながりなど、多くの国についてさらに学びを深めようとしている。				
	単元 5 世界の気候と人々の生活	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 気温と降水、生活への影響について理解できる。	・指導事項 気温、降水 気候と生活	【知識及び技能】 気温と降水、生活への影響について理解できている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 各気候の代表的な地域について調べることができる。	・教材 教科書、地図帳	【思考力、判断力、表現力 等】 各気候の代表的な地域について調べたことをまとめ、適切な表現で伝えることができる。	○	○	○	7
	【学びに向かう力、人間性 等】 主体的に学習を進め、関心を広げようとする。	・一人 1 台端末の活用（場面） 説明資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に学習を進め、関心を広げようとしている。				
	定期考査（2 学期中間考査）						1
	単元 5 世界の気候と人々の生活	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 気温と降水、生活への影響について理解できる。	・指導事項 気温、降水 気候と生活	【知識及び技能】 気温と降水、生活への影響について理解できている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 各気候の代表的な地域について調べることができる。	・教材 教科書、地図帳	【思考力、判断力、表現力 等】 各気候の代表的な地域について調べたことをまとめ、適切な表現で伝えることができる。	○	○	○	7
	【学びに向かう力、人間性 等】 主体的に学習を進め、関心を広げようとする。	・一人 1 台端末の活用（場面） 説明資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に学習を進め、関心を広げようとしている。				
	単元 6 地球的課題	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 地球規模で取組む諸問題を理解できる。	・指導事項 環境、資源、エネルギー、人口、食糧	【知識及び技能】 地球規模で取組む諸問題を的確に理解できている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 各国の取組みや身近な生活での取組みに気づいたり、考察したりすることができる。	・教材 教科書、地図帳	【思考力、判断力、表現力 等】 各国の取組みや身近な生活での取組みに気づいたり、考察したりして、記述や発表で伝えることができる。	○	○	○	8
	【学びに向かう力、人間性 等】 主体的に学習を進め、関心を広げようとする。	・一人 1 台端末の活用（場面） 説明資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に学習を進め、関心を広げようとしている。				
	定期考査（2 学期期末考査）						1

教科：	地理歴史	科目：	地理総合	単位数：	2
対象年次・クラス：	1 年次三修制				
教材：	教科書	高等学校 新地理総合（帝国書院）			
	補助教材	新詳高等地図（帝国書院） プリント I C T 機器			
教科目標	【 知 識 及 び 技 能 】		【 思考力、判断力、表現力 等 】		【 学びに向かう力、人間性 等 】
	・地球や地理の様相、諸問題について理解できる。		・地球や地理について、自身の考えを根拠立てて表現できている。 ・図表やグラフなどを活用して説明できる。		・授業態度や提出物等が良好である。 ・前向きに発言したり課題に取り組んだりできる。
科目目標	【 知 識 及 び 技 能 】		【 思考力、判断力、表現力 等 】		【 学びに向かう力、人間性 等 】
	地図や地理情報システムなどの地理的な技能を身に付け、地球規模の自然システム、社会・経済システムを理解できる。		位置と分布、場所、地域などの空間概念を捉え、地理的な見方や自己の考え方をまとめ、伝えることができる。		持続可能な社会づくりに向けて、地球的課題や地域的課題の解決を模索、追究しようとする。

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規 準	知	思	態	配当時数
3	単元 7 日本の自然災害と防災	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 災害やその際の行動について理解できる。	・指導事項 地震、津波、火山、気象の災害 防災	【知識及び技能】 災害やその際の行動について理解できている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 身近な生活での取組みに気づいたり、考察したりすることができる。	・教材 教科書、地図帳	【思考力、判断力、表現力 等】 身近な生活での取組みに気づいたり、考察したりすることができる。	○	○	○	9
	【学びに向かう力、人間性 等】 主体的に学習を進め、関心を広げようとする。	・一人 1 台端末の活用（場面） 説明資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に学習を進め、関心を広げ、緊急時によりよい行動をとれるように考えようとしている。				
学 期	単元 8 生活圏の調査と地域の展望	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 現地調査の準備・実施ができる。	・指導事項 生活圏調査	【知識及び技能】 現地調査の準備・実施が適切にできている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 調査を分析、考察し、発表することができる。	・教材 教科書、地図帳	【思考力、判断力、表現力 等】 調査を分析、考察を深め、わかりやすく発表する工夫ができている。	○	○	○	8
	【学びに向かう力、人間性 等】 主体的に学習を進め、関心を広げようとする。	・一人 1 台端末の活用（場面） 説明資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に学習を進め、関心を広げようとしている。				
定期考査（学年末考査）							1

教科：	公民	科目：	公共	単位数：	2
対象年次・クラス：	1 年次				
教材：	教科書	高等学校 公共 これからの社会について考える（数研出版）			
	補助教材	プリント I C T 機器			
教科目標	【 知 識 及 び 技 能 】		【 思考力、判断力、表現力 等 】		【 学びに向かう力、人間性 等 】
	・ 社会の様相、諸問題について理解できる。		・ 社会の諸問題について、自身の考えを根拠立てて表現できる。 ・ 図表やグラフなどを活用して説明できる。		・ 授業態度や提出物等が良好である。 ・ 前向きに発言したり課題に取り組んだりできる。
科目目標	【 知 識 及 び 技 能 】		【 思考力、判断力、表現力 等 】		【 学びに向かう力、人間性 等 】
	・ 教科書の太字レベルについて理解できる。 ・ プリントの空欄レベルについて理解できる。		・ 自身の考えを根拠立てて表現できる。 ・ 図表やグラフなどを活用して説明できる。		・ 授業態度や提出物等が良好である。 ・ 前向きに発言したり課題に取り組んだりできる。

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1 学期	単元 1 現代の諸課題と倫理	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 教科書及びプリントの太字・重要事項について理解できる。	・ 指導事項 ・ 地球環境をめぐる問題 ・ 生命をめぐる問題	【知識及び技能】 教科書及びプリントの太字・重要事項について理解できる。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 様々な課題について自身の意見をまとめ、説明することができる。	・ 教材 教科書	【思考力、判断力、表現力 等】 様々な課題について自身の意見をまとめ、説明することができる。	○	○	○	10
	【学びに向かう力、人間性 等】 休まず授業に出席し、提出物等を主体的に取り組むことができる。	・ 一人 1 台端末の活用（場面） 課題の配信、提出。	【主体的に学習に取り組む態度】 休まず授業に出席し、提出物等を主体的に取り組むことができる。				
	単元 2 生活の中の公共	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 教科書及びプリントの太字・重要事項について理解できる。	・ 指導事項 ・ 身近な公共の問題 ・ 青年期	【知識及び技能】 教科書及びプリントの太字・重要事項について理解できる。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 様々な課題について自身の意見をまとめ、説明することができる。	・ 教材 教科書	【思考力、判断力、表現力 等】 様々な課題について自身の意見をまとめ、説明することができる。	○	○	○	5
	【学びに向かう力、人間性 等】 休まず授業に出席し、提出物等を主体的に取り組むことができる。	・ 一人 1 台端末の活用（場面） 課題の配信、提出。	【主体的に学習に取り組む態度】 休まず授業に出席し、提出物等を主体的に取り組むことができる。				
	定期考査（1 学期中間考査）						1
	単元 3 民主社会の基本原則	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 教科書及びプリントの太字・重要事項について理解できる。	・ 指導事項 ・ 主権者としての自己 ・ 民主政治と基本的人権	【知識及び技能】 教科書及びプリントの太字・重要事項について理解できる。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 様々な課題について自身の意見をまとめ、説明することができる。	・ 教材 教科書	【思考力、判断力、表現力 等】 様々な課題について自身の意見をまとめ、説明することができる。	○	○	○	6
	【学びに向かう力、人間性 等】 休まず授業に出席し、提出物等を主体的に取り組むことができる。	・ 一人 1 台端末の活用（場面） 課題の配信、提出。	【主体的に学習に取り組む態度】 休まず授業に出席し、提出物等を主体的に取り組むことができる。				
	単元 4 日本社会の基本原則（憲法）	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 教科書及びプリントの太字・重要事項について理解できる。	・ 指導事項 ・ 日本国憲法と基本原理	【知識及び技能】 教科書及びプリントの太字・重要事項について理解できる。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 様々な課題について自身の意見をまとめ、説明することができる。	・ 教材 教科書	【思考力、判断力、表現力 等】 様々な課題について自身の意見をまとめ、説明することができる。	○	○	○	5
	【学びに向かう力、人間性 等】 休まず授業に出席し、提出物等を主体的に取り組むことができる。	・ 一人 1 台端末の活用（場面） 課題の配信、提出。	【主体的に学習に取り組む態度】 休まず授業に出席し、提出物等を主体的に取り組むことができる。				
	定期考査（1 学期期末考査）						1

教科：	公民	科目：	公共	単位数：	2
対象年次・クラス：	1 年次				
教材：	教科書	高等学校 公共 これからの社会について考える（数研出版）			
	補助教材	プリント I C T 機器			

教科目標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	・社会の様相、諸問題について理解できる。	・社会の諸問題について、自身の考えを根拠立てて表現できる。 ・自身の考えを根拠立てて表現できる。 ・図表やグラフなどを活用して説明できる。	・授業態度や提出物等が良好である。 ・前向きに発言したり課題に取り組んだりできる。

科目目標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	・教科書の太字レベルについて理解できる。 ・プリントの空欄レベルについて理解できる。	・自身の考えを根拠立てて表現できる。 ・図表やグラフなどを活用して説明できる。	・授業態度や提出物等が良好である。 ・前向きに発言したり課題に取り組んだりできる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
学 期	単元 5 日本社会の基本原則（基本的人権）	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 教科書及びプリントの太字・重要事項について理解できる。	・指導事項 ・平等権・自由権・社会権・新しい人権	【知識及び技能】 教科書及びプリントの太字・重要事項について理解できる。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 様々な課題について自身の意見をまとめ、説明することができる。	・教材 教科書	【思考力、判断力、表現力 等】 様々な課題について自身の意見をまとめ、説明することができる。	○	○	○	10
	【学びに向かう力、人間性 等】 休まず授業に出席し、提出物等を主体的に取り組むことができる。	・一人1台端末の活用（場面） 課題の配信、提出。	【主体的に学習に取り組む態度】 休まず授業に出席し、提出物等を主体的に取り組むことができる。				
	単元 6 国際政治の課題と日本の役割	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 教科書及びプリントの太字・重要事項について理解できる。	・指導事項 ・日本の平和主義や安全保障	【知識及び技能】 教科書及びプリントの太字・重要事項について理解できる。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 様々な課題について自身の意見をまとめ、説明することができる。	・教材 教科書	【思考力、判断力、表現力 等】 様々な課題について自身の意見をまとめ、説明することができる。	○	○	○	5
	【学びに向かう力、人間性 等】 休まず授業に出席し、提出物等を主体的に取り組むことができる。	・一人1台端末の活用（場面） 課題の配信、提出。	【主体的に学習に取り組む態度】 休まず授業に出席し、提出物等を主体的に取り組むことができる。				
	定期考査（2学期中間考査）						1
	単元 7 経済のしくみ	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 ・経済生活のしくみや資本主義・社会主義について理解する。	・指導事項 ・経済のしくみと産業の変化 ・市場経済の仕組みと金融	【知識及び技能】 教科書及びプリントの太字・重要事項について理解できる。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 ・市場経済の仕組みと物価、需要曲線・供給曲線について考察し、まとめる。	・教材 教科書	【思考力、判断力、表現力 等】 様々な課題について自身の意見をまとめ、説明することができる。	○	○	○	8
	【学びに向かう力、人間性 等】 休まず授業に出席し、提出物等を主体的に取り組むことができる。	・一人1台端末の活用（場面） 課題の配信、提出。	【主体的に学習に取り組む態度】 休まず授業に出席し、提出物等を主体的に取り組むことができる。				
	単元 8 財政と社会保障	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 教科書及びプリントの太字・重要事項について理解できる。	・指導事項 ・財政と租税の役割 ・社会保障の仕組み	【知識及び技能】 教科書及びプリントの太字・重要事項について理解できる。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 様々な課題について自身の意見をまとめ、説明することができる。	・教材 教科書	【思考力、判断力、表現力 等】 様々な課題について自身の意見をまとめ、説明することができる。	○	○	○	7
	【学びに向かう力、人間性 等】 休まず授業に出席し、提出物等を主体的に取り組むことができる。	・一人1台端末の活用（場面） 課題の配信、提出。	【主体的に学習に取り組む態度】 休まず授業に出席し、提出物等を主体的に取り組むことができる。				
	定期考査（2学期期末考査）						1

教科：	公民	科目：	公共	単位数：	2
対象年次・クラス：	1 年次				
教材：	教科書	高等学校 公共 これからの社会について考える（数研出版）			
	補助教材	プリント I C T 機器			

教科目標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	・社会の様相、諸問題について理解できる。	・社会の諸問題について、自身の考えを根拠立てて表現できる。 ・図表やグラフなどを活用して説明できる。	・授業態度や提出物等が良好である。 ・前向きに発言したり課題に取り組んだりできる。

科目目標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	・教科書の太字レベルについて理解できる。 ・プリントの空欄レベルについて理解できる。	・自身の考えを根拠立てて表現できる。 ・図表やグラフなどを活用して説明できる。	・授業態度や提出物等が良好である。 ・前向きに発言したり課題に取り組んだりできる。

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規 準	知	思	態	配当時数
3 期 学	単元 9 国際政治の動向	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 ・戦後の国際情勢、国際連合について理解する。	・指導事項 国際政治の課題と日本の役割	【知識及び技能】 教科書及びプリントの太字・重要事項について理解できる。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 ・冷戦期や地域紛争について考察し、まとめる。 ・軍縮への動き、核兵器について考察し、まとめる。	・教材 教科書	【思考力、判断力、表現力 等】 様々な課題について自身の意見をまとめ、説明することができる。	○	○	○	8
	【学びに向かう力、人間性 等】 休まず授業に出席し、提出物等を主体的に取り組むことができる。	・一人1台端末の活用（場面） 課題の配信、提出。	【主体的に学習に取り組む態度】 休まず授業に出席し、提出物等を主体的に取り組むことができる。				
	単元 10 西洋近現代の思想	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 先哲の思想について理解する。	・指導事項 先哲の思想	【知識及び技能】 教科書及びプリントの太字・重要事項について理解できる。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 様々な課題について自身の意見をまとめ、説明することができる。	・教材 教科書	【思考力、判断力、表現力 等】 様々な課題について自身の意見をまとめ、説明することができる。	○	○	○	6
	【学びに向かう力、人間性 等】 休まず授業に出席し、提出物等を主体的に取り組むことができる。	・一人1台端末の活用（場面） 課題の配信、提出。	【主体的に学習に取り組む態度】 休まず授業に出席し、提出物等を主体的に取り組むことができる。				
	単元 11 探究学習	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 教科書及びプリントの太字・重要事項について理解できる。	・指導事項 ・興味のあるテーマについての探究 ・一年間のまとめ	【知識及び技能】 教科書及びプリントの太字・重要事項について理解できる。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 様々な課題について自身の意見をまとめ、説明することができる。	・教材 教科書	【思考力、判断力、表現力 等】 様々な課題について自身の意見をまとめ、説明することができる。	○	○	○	3
	【学びに向かう力、人間性 等】 休まず授業に出席し、提出物等を主体的に取り組むことができる。	・一人1台端末の活用（場面） 課題の配信、提出。	【主体的に学習に取り組む態度】 休まず授業に出席し、提出物等を主体的に取り組むことができる。				
定期考査（学年末考査）						1	

教科：	数学	科目：	数学Ⅰ	単位数：	4
対象年次・クラス：	1 年次三修制				
教材：	教科書	高校数学Ⅰ（実教出版）			
	補助教材	高校数学Ⅰ 専用スタディノート（実教出版） プリント ICT機器			
教科目標	【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】
	数学の基本的な概念や原理・法則を理解し、かつ数学的に正確に表現・処理することができる。		事象を数値化し、論理的に考察することができる。また数や式を目的に応じて変形することができ、数学的に簡潔で正確に表現できる。		事象を数値化し、論理的に考察することができる。また数や式を目的に応じて変形することができ、数学的に簡潔で正確に表現できる。
科目目標	【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】
	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。事象を数値化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。		命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力を身に付ける。図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力を身に付ける。関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴について、表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を身に付ける。社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身に付ける。		数学のよさを認識し、数学を活用しようとする。粘り強く考え、数学的論拠に基づいて判断しようとする。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1 学 期	単元 1 1 章 数と式（1 節 整式）	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項 多項式の加法・減法・乗法・因数分解	【知識及び技能】 多項式について、同類項をまとめたり、ある文字に着目して降べきの項に整理したりできている。展開の公式を利用できている。因数分解の公式を利用できている。				
	【思考力、判断力、表現力等】	・教材 教科書、ワーク、プリント等	【思考力、判断力、表現力等】 式を1つの文字におき換えることにより、式の計算を簡略化できている。式の特徴に着目して変形し、因数分解の公式を適用できている。	○	○	○	12
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面） 解説、課題の提示・提出	【主体的に学習に取り組む態度】 多項式の加法・減法・乗法には、数の場合と同様に交換・結合・分配法則が使えることに関心を持ち、考察しようとしている。式の変形、整理などの工夫において、よりよい方法を考察しようとしている。				
	単元 2 1 章 数と式（2 節 実数）	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項 中学校までに扱った数を実数としてまとめ、数の体系について理解する。簡単な無理数の四則計算ができる。	【知識及び技能】 実数の定義を理解し、四則計算の可能性について理解できている。				
	【思考力、判断力、表現力等】	・教材 教科書、ワーク、プリント等	【思考力、判断力、表現力等】 数直線を関係づけて式を考えることができている。分母の有理化ができている。式の変形を活用して考察できている。	○	○	○	13
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面） 解説、課題の提示・提出	【主体的に学習に取り組む態度】 やや複雑な計算に取り組む意欲を持つことができている。				
	定期考査（1 学期中間考査）						1
	単元 3 1 章 数と式（3 節 方程式と不等式）	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項 1 次不等式	【知識及び技能】 不等式の中の文字や不等式の解の意味について扱い、不等式が大小関係についての条件を式に表したものであり、この条件を満たす変数の値の集合が不等式の解であることを理解できている。				
	【思考力、判断力、表現力等】	・教材 教科書、ワーク、プリント等	【思考力、判断力、表現力等】 不等式の性質をもとに、1 次不等式の解法を考察し、解くことができている。日常的具体的な事象と関連付けて不等式を活用することができている。	○	○	○	29
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面） 解説、課題の提示・提出	【主体的に学習に取り組む態度】 やや複雑な方程式や不等式に取り組む意欲を持つことができている。				
	定期考査（1 学期期末考査）						1

教科：	数学	科目：	数学 I	単位数：	4
対象年次・クラス：	1 年次三修制				
教材：	教科書	高校数学 I（実教出版）			
	補助教材	高校数学 I 専用スタディノート（実教出版） プリント ICT機器			
教科目標	【 知 識 及 び 技 能 】		【 思考力、判断力、表現力 等 】		【 学びに向かう力、人間性 等 】
	数学の基本的な概念や原理・法則を理解し、かつ数学的に正確に表現・処理することができる。		事象を数式化し、論理的に考察することができる。また数や式を目的に応じて変形することができ、数学的に簡潔で正確に表現できる。		事象を数式化し、論理的に考察することができる。また数や式を目的に応じて変形することができ、数学的に簡潔で正確に表現できる。
科目目標	【 知 識 及 び 技 能 】		【 思考力、判断力、表現力 等 】		【 学びに向かう力、人間性 等 】
	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。		命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力を身に付ける。図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力を身に付ける。関係関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴について、表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を身に付ける。社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身に付ける。		数学のよさを認識し、数学を活用しようとする。粘り強く考え、数学的論拠に基づいて判断しようとする。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
2 学期	単元 4 2章 2次関数（1節 関数とグラフ） 【知識及び技能】 2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解できる。 【思考力、表現力、人間力 等】 2次関数の式とグラフの関係について多面的に考察し、伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性 等】 2次関数と日常生活との連関を知り、関心を持って考察しようとする。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 1次関数とグラフ、2次関数とグラフ ・教材 教科書、ワーク、プリント等	次の観点別評価基準により評価する。 【知識及び技能】 2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解できている。 【思考力、表現力、人間力 等】 2次関数の式とグラフの関係について多面的に考察し、伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 2次関数と日常生活との連関を知り、関心を持って考察しようとしている。	○	○	○	16
	単元 5 2章 2次関数（2節 2次関数の値の変化） 【知識及び技能】 2次関数の最大値や最小値を求めることができる。2次関数のグラフから2次方程式の解を導くことができる。 【思考力、表現力、人間力 等】 2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求めることができる。 【学びに向かう力、人間性 等】 2次関数と日常生活との連関を知り、関心を持って考察しようとする。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 2次関数の最大値・最小値、2次関数のグラフと2次方程式、2次関数のグラフと2次不等式 ・教材 教科書、ワーク、プリント等	次の観点別評価基準により評価する。 【知識及び技能】 2次関数の最大値や最小値を求めることができる。2次関数のグラフから2次方程式の解を導くことができる。 【思考力、表現力、人間力 等】 2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて適切な方法で2次不等式の解を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 2次関数と日常生活との連関を知り、関心を持って考察しようとしている。	○	○	○	17
	定期考査（2学期中間考査）						1
	単元 6 3章 三角比（三角比、三角比の応用） 【知識及び技能】 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解できる。鋭角の三角比を用いて鈍角の三角比を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力 等】 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、三角形の辺と角との間の関係や平面図形の計量などに活用することができる。 【学びに向かう力、人間性 等】 三角比と日常生活との連関を知り、関心を持って考察しようとする。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 三角形、三角比、三角比の利用、三角比の相互関係、三角比の拡張、三角形の面積 ・教材 教科書、ワーク、プリント等	次の観点別評価基準により評価する。 【知識及び技能】 三角比、三角比の利用、三角比の相互関係、三角比の拡張、三角形の面積 【思考力、判断力、表現力 等】 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、三角形の辺と角との間の関係や平面図形の計量などに活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 三角比と日常生活との連関を知り、関心を持って考察しようとしている。	○	○	○	16
	単元 7 3章 三角比（正弦定理、余弦定理） 【知識及び技能】 正弦定理と余弦定理について理解する。 【思考力、判断力、表現力 等】 正弦定理と余弦定理を用いることができる。角度、辺の長さを求めることができる。 【学びに向かう力、人間性 等】 三角比と日常生活との連関を知り、関心を持って考察しようとする。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 正弦定理、余弦定理、正弦定理と余弦定理の利用 ・教材 教科書、ワーク、プリント等	次の観点別評価基準により評価する。 【知識及び技能】 正弦定理と余弦定理について理解できている。 【思考力、判断力、表現力 等】 正弦定理と余弦定理を用いて、角度、辺の長さを求めていくことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 三角比と日常生活との連関を知り、関心を持って考察しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査（2学期期末考査）						1

教科：数学		科目：数学Ⅰ		単位数：4
対象年次・クラス：		1年次三修制		
教材：	教科書	高校数学Ⅰ（実教出版）		
	補助教材	高校数学Ⅰ 専用スタディノート（実教出版） プリント ICT機器		
教科目標	【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	数学の基本的な概念や原理・法則を理解し、かつ数学的に正確に表現・処理することができる。		事象を数値化し、論理的に考察することができる。また数や式を目的に応じて変形することができ、数学的に簡潔で正確に表現できる。	事象を数値化し、論理的に考察することができる。また数や式を目的に応じて変形することができ、数学的に簡潔で正確に表現できる。
科目目標	【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。事象を数値化したリ、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。		命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力を身に付ける。図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力を身に付ける。関係関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴について、表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を身に付ける。社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身に付ける。	数学のよさを認識し、数学を活用しようとする。粘り強く考え、数学的論拠に基づいて判断しようとする。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
3	単元 8 4章 集合と論証	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 集合や命題の概念を理解できる。	・指導事項 集合と要素、命題、色々な証明法	【知識及び技能】 集合や命題の概念を理解できている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 待遇による証明、背理法による証明ができる。	・教材 教科書、ワーク、プリント等	【思考力、判断力、表現力等】 待遇による証明、背理法による証明ができている。	○	○	○	18
	【学びに向かう力、人間性等】 数学的思考と日常生活との連関を知り、関心を持って考察しようとする。	・一人1台端末の活用（場面） 解説、課題の提示・提出	【主体的に学習に取り組む態度】 数学的思考と日常生活との連関を知り、関心を持って考察しようとしている。				
学 期	単元 9 5章 データの分析	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 統計の基本的な考えを理解できる。	・指導事項 データの分析	【知識及び技能】 統計の基本的な考えを理解できている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察できる。	・教材 教科書、ワーク、プリント等	【思考力、判断力、表現力等】 データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察できている。	○	○	○	17
	【学びに向かう力、人間性等】 データ分析と日常生活との連関を知り、関心を持って考察しようとする。	・一人1台端末の活用（場面） 解説、課題の提示・提出	【主体的に学習に取り組む態度】 データ分析と日常生活との連関を知り、関心を持って考察しようとしている。				
定期考査（学年末考査）							1

教科：	数学	科目：	数学Ⅰ	単位数：	2
対象年次・クラス：	1 年次四修制				
教材：	教科書	高校数学Ⅰ（実教出版）			
	補助教材	高校数学Ⅰ 専用スタディノート（実教出版） プリント ICT機器			

教科目標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	数学の基本的な概念や原理・法則を理解し、かつ数学的に正確に表現・処理することができる。	事象を数学化し、論理的に考察することができる。また数や式を目的に応じて変形することができ、数学的に簡潔で正確に表現できる。	事象を数学化し、論理的に考察することができる。また数や式を目的に応じて変形することができ、数学的に簡潔で正確に表現できる。

科目目標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。事象を数学化したリ、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力を身に付ける。図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力を身に付ける。関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴について、表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を身に付ける。社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身に付ける。	数学のよさを認識し、数学を活用しようとする。粘り強く考え、数学的論拠に基づいて判断しようとする。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする。

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
学 期	単元 1 1 章 数と式（1 節 整式）	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	式を整理することができる。	多項式の加法・減法	式を整理することができる。				
	【思考力、表現力、人間力 等】	・教材	【思考力、表現力、人間力 等】	○	○	○	12
	式を適切に変形することができる。	教科書、ワーク、プリント等	式を目的に応じて変形したり扱ったりすることができる。				
	【学びに向かう力、人間性 等】	・一人1台端末の活用（場面）	【主体的に学習に取り組む態度】				
	課題に自主的に取り組み、新しい考えを吸収しようとする。	解説、課題の提示・提出	式の変形、整理などの工夫において、よりよい方法を考察しようとしている。				
	定期考査（1 学期中間考査）						1
	単元 2 1 章 数と式（1 節 整式）	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	式を目的に応じて1つの文字に着目して整理したり、1つの文字におき換えたりすることができる。	多項式の加法・減法・乗法・因数分解	多項式について、同類項をまとめたり、ある文字に着目して降べきの項に整理したりできている。展開の公式を利用できている。因数分解の公式を利用できている。	○	○	○	14
	【思考力、表現力、人間力 等】	・教材	【思考力、表現力、人間力 等】				
	式を多面的に捉えたり、目的に応じて適切に変形したりできる。	教科書、ワーク、プリント等	式を1つの文字におき換えることにより、式の計算を簡略化できている。式の形の特徴に着目して変形し、因数分解の公式を適用できている。				
	【学びに向かう力、人間性 等】	・一人1台端末の活用（場面）	【主体的に学習に取り組む態度】				
	課題に自主的に取り組み、新しい考えを吸収しようとする。	解説、課題の提示・提出	多項式の加法・減法・乗法には、数の場合と同様に交換・結合・分配法則が使えることに関心をもち、考察しようとしている。式の変形、整理などの工夫において、よりよい方法を考察しようとしている。				
	定期考査（1 学期期末考査）						1

教科:	数学	科目:	数学 I	単位数:	2
対象年次・クラス:	1 年次四修制				
教材:	教科書	高校数学 I (実教出版)			
	補助教材	高校数学 I 専用スタディノート (実教出版) プリント ICT機器			
教科目標	【 知 識 及 び 技 能 】		【 思考力、判断力、表現力 等 】		【 学びに向かう力、人間性 等 】
	数学の基本的な概念や原理・法則を理解し、かつ数学的に正確に表現・処理することができる。		事象を数学化し、論理的に考察することができる。また数や式を目的に応じて変形することができ、数学的に簡潔で正確に表現できる。		事象を数学化し、論理的に考察することができる。また数や式を目的に応じて変形することができ、数学的に簡潔で正確に表現できる。
科目目標	【 知 識 及 び 技 能 】		【 思考力、判断力、表現力 等 】		【 学びに向かう力、人間性 等 】
	数と式、図形と計量、2 次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。		命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力を身に付ける。図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力を身に付ける。関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴について、表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を身に付ける。社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身に付ける。		数学のよさを認識し、数学を活用しようとする。粘り強く考え、数学的論拠に基づいて判断しようとする。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当時数
学 期	2	単元 3 1 章 数と式 (2 節 実数)	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。			
		【知識及び技能】 平方根の意味・性質を理解できる。有理数・無理数の定義を理解できる。実数の分類について理解できる。	・指導事項 実数、根号を含む式の計算	【知識及び技能】 平方根の意味・性質を理解できている。有理数・無理数の定義を理解できている。実数の分類について理解できている。	○	○	○
		【思考力、判断力、表現力 等】 √を含む四則計算ができる。分母の有理化ができる。循環小数を分数で表すことを考察できる。	・教材 教科書、ワーク、プリント等	【思考力、判断力、表現力 等】 数を拡張してきた過程や数の四則計算の可能性について適切に考察できている。循環小数を分数で表すことを考察できている。			
		【学びに向かう力、人間性 等】 課題に自主的に取り組み、新しい考えを吸収しようとする。	・一人 1 台端末の活用 (場面) 解説、課題の提示・提出	【主体的に学習に取り組む態度】 √を含む計算や数を実数まで拡張することの意義に関心を持ち、よりよい方法を考察しようとしている。			
		定期考査 (2 学期中間考査)					1
	1	単元 4 1 章 数と式 (3 節 方程式と不等式)	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。			
		【知識及び技能】 方程式、不等式の意味、性質について理解できる。	・指導事項 方程式、1 次不等式	【知識及び技能】 方程式、不等式の意味、性質について理解できている。	○	○	○
		【思考力、判断力、表現力 等】 方程式、不等式の解を求める過程を考察できる。	・教材 教科書、ワーク、プリント等	【思考力、判断力、表現力 等】 方程式、不等式の解を求める過程を考察できている。			
		【学びに向かう力、人間性 等】 課題に自主的に取り組み、新しい考えを吸収しようとする。	・一人 1 台端末の活用 (場面) 解説、課題の提示・提出	【主体的に学習に取り組む態度】 方程式や不等式に関心を持ち、よりよい解の求め方を考察しようとしている。			
		定期考査 (2 学期期末考査)					1

教 科： 数学		科 目： 数学Ⅰ		単位数： 2
対象年次・クラス：		1 年次四修制		
教 材：	教科書	高校数学Ⅰ（実教出版）		
	補助教材	高校数学Ⅰ 専用スタディノート（実教出版） プリント ICT機器		
教科目標	【 知 識 及 び 技 能 】		【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	数学の基本的な概念や原理・法則を理解し、かつ数学的に正確に表現・処理することができる。		事象を数学化し、論理的に考察することができる。また数や式を目的に応じて変形することができ、数学的に簡潔で正確に表現できる。	事象を数学化し、論理的に考察することができる。また数や式を目的に応じて変形することができ、数学的に簡潔で正確に表現できる。
科目目標	【 知 識 及 び 技 能 】		【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。		命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力を身に付ける。図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力を身に付ける。関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴について、表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を身に付ける。社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身に付ける。	数学のよさを認識し、数学を活用しようとする。粘り強く考え、数学的論拠に基づいて判断しようとする。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当時数
3	単元 5 1 章 数と式（3 節 方程式と不等式）	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 不等式の解を求めることができる。	・指導事項 連立不等式、不等式的应用	【知識及び技能】 不等式の解を適切な過程で求めることができている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 不等式の解の範囲を、数直線上に示すことができる。数量の大小関係を数式を用いて表すことができる。	・教材 教科書、ワーク、プリント等	【思考力、判断力、表現力 等】 不等式の解の範囲を、数直線上に適切に示したり、適切に解釈したりすることができる。	○	○	○	9
	【学びに向かう力、人間性 等】 課題に自主的に取り組み、新しい考えを吸収しようとする。	・一人1 台端末の活用（場面） 解説、課題の提示・提出	【主体的に学習に取り組む態度】 方程式や不等式と日常生活との連関を知り、関心を持って考察しようとしている。				
学 期	単元 6 2 章 2 次関数（1 節 関数とグラフ）	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 関数の概念、定義域、値域について理解できる。	・指導事項 1 次関数とそのグラフ、2 次関数とそのグラフ	【知識及び技能】 関数の概念、定義域、値域について理解できている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 関数を適切に式変形して、1 次関数、2 次関数のグラフを描くことができる。	・教材 教科書、ワーク、プリント等	【思考力、判断力、表現力 等】 関数を適切に式変形して、1 次関数、2 次関数のグラフを正しく描くことができる。	○	○	○	8
	【学びに向かう力、人間性 等】 課題に自主的に取り組み、新しい考えを吸収しようとする。	・一人1 台端末の活用（場面） 解説、課題の提示・提出	【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活の諸事象に関して、関数の考えを適用して関心を持って考察しようとしている。				
定期考査（学年末考査）							1

教 科：	理科	科 目：	科学と人間生活	単位数：	2
対象年次・クラス：	1 年次				
教 材：	教科書	科学と人間生活（東京書籍）			
	補助教材	プリント I C T 機器			

	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
教科 目 標	- 自然科学の基本概念や原理についての理解を深める。 - 環境問題やエネルギー問題など、現代社会に関わる科学技術についての見識を持つようになる。 - 自然科学的な問題について、分析し、考察し、解決策を導き出す能力を養う。	- 現象やデータを客観的に観察し、分析し、仮説を立てることができる思考力を養う。 - 課題について、科学的な立場から慎重かつ正確な判断を行うことができるようになる。 - 科学的な発見や知見を分かりやすく伝えることができる能力を身につける。	- 自分自身の学びの意欲や興味を持続ける力を養うことができるようになる。 - 他者や社会、環境に対する理解や尊重、配慮など、社会的な視野やコミュニケーション能力を育むことができる人間性を身につける。

	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
科 目 目 標	科学の発展と人間生活との関わりについて理解する。	自然科学について観察・実験などを行い人間生活と関連付けて科学的に考察し表現できる。	自然科学に主体的に関わり、見通しを持ったり、振り返ったりするなど、科学的にさらに探究しようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評 価 規 準	知	思	態	配当時数
学 期	単元 1 材料とその再利用	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 金属やプラスチックの種類、性質、用途、資源の再利用について理解する。観察、実験の技能を身に付ける。	・指導事項 金属、プラスチック、リサイクル	【知識及び技能】 金属やプラスチックの種類、性質、用途、資源の再利用について、日常生活と関連付けて理解できている。観察、実験の技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 材料とその再利用について、見通しを持って観察、実験ができる。	・教材 教科書、プリント資料、I C T 機器	【思考力、判断力、表現力 等】 材料とその再利用について、問題を見出し、見通しを持って観察、実験ができている。人間生活と関連付けて、科学的に考察し、表現できている。	○	○	○	13
	【学びに向かう力、人間性 等】 材料とその利用に関する事象・事象に進んで関わり、科学的に探究する態度を持つことができる。	・一人1台端末の活用（場面） 資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 材料とその利用に主体的に関わり、学習を振り返って科学的にさらに探究しようとしている。				
	定期考査（1学期中間考査）						1
	単元 2 衣料と食品	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 衣料や食品の構造と性質を理解する。	・指導事項 繊維、食品中の成分	【知識及び技能】 衣料や食品の構造と性質を理解できている。繊維の構造と性質を理解できている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 身近な衣料や食品について、性質や構造を科学的に考察することができる。	・教材 教科書、プリント資料、I C T 機器	【思考力、判断力、表現力 等】 身近な衣料品や食品について、性質や構造を科学的に考察し、考えを表現できている。	○	○	○	13
	【学びに向かう力、人間性 等】 衣料と食品に関する事象・事象に進んで関わり、科学的に探究する態度を持つことができる。	・一人1台端末の活用（場面） 資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 くらしの中にある衣料と食品に主体的に関わり、学習を振り返って科学的にさらに探究しようとしている。				
	定期考査（1学期期末考査）						1

教 科：	理科	科 目：	科学と人間生活	単位数：	2
対象年次・クラス：	1 年次				
教 材：	教科書 科学と人間生活（東京書籍）				
	補助教材 プリント I C T 機器				

教科 目 標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	- 自然科学の基本概念や原理についての理解を深める。 - 環境問題やエネルギー問題など、現代社会に関わる科学技術についての見識を持つようになる。 - 自然科学的な問題について、分析し、考察し、解決策を導き出す能力を養う。	- 現象やデータを客観的に観察し、分析し、仮説を立てることができる思考力を養う。 - 課題について、科学的な立場から慎重かつ正確な判断を行うことができるようになる。 - 科学的な発見や知見を分かりやすく伝えることができる能力を身につける。	- 自分自身の学びの意欲や興味を持ち続ける力を養うことができるようになる。 - 他者や社会、環境に対する理解や尊重、配慮など、社会的な視野やコミュニケーション能力を育むことができる人間性を身につける。

科 目 目 標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	科学の発展と人間生活との関わりについて理解する。	自然科学について観察・実験などを行い人間生活と関連付けて科学的に考察し表現できる。	自然科学に主体的に関わり、見通しを持ったり、振り返ったりするなど、科学的にさらに探究しようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評 価 規 準	知	思	態	配当時数
2 学 期	単元 3 光の性質とその利用 【知識及び技能】 光の性質と種類について、理解できる。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 身のまわりの光、電磁波	次の観点別評価基準により評価する。 【知識及び技能】 身のまわりの光や色について、理解できている。				10
	【思考力、判断力、表現力 等】 光に関する現象の原理や仕組みについて、考察することができる。	・教材 教科書、プリント資料、I C T 機器	【思考力、判断力、表現力 等】 光に関する現象の原理や仕組みについて考察し、自分の考えを表現することができる。	○	○	○	
	【学びに向かう力、人間性 等】 光に関する事物・事象に進んで関わり、科学的に探究する態度を持つことができる。	・一人1台端末の活用（場面） 資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 暮らしの中にある光や色に主体的に関わり、学習を振り返って科学的にさらに探究しようとしている。				
	単元 4 熱の性質とその利用 【知識及び技能】 熱の性質と種類について、理解できる。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 暮らしの中で利用する熱、暮らしの中のエネルギー	次の観点別評価基準により評価する。 【知識及び技能】 暮らしの中で利用する熱の性質について、理解できている。				10
	【思考力、判断力、表現力 等】 熱に関する現象の原理や仕組みについて、考察することができる。	・教材 教科書、プリント資料、I C T 機器	【思考力、判断力、表現力 等】 原子や分子の熱運動というミクロな立場から、物質の三態変化や絶対温度について理解したことを、自分の言葉で表現することができる。	○	○	○	
	【学びに向かう力、人間性 等】 熱に関する事物・事象に進んで関わり、科学的に探究する態度を持つことができる。	・一人1台端末の活用（場面） 資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 電気エネルギーや化学エネルギーから熱エネルギーへの変換など、科学的にさらに探究しようとしている。				
	定期考査（2 学期中間考査）						1
	単元 5 身近な天体と太陽系における地球 【知識及び技能】 身近な天体と人間生活の関わりを理解する。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 天体と人間生活のかかわり	次の観点別評価基準により評価する。 【知識及び技能】 太陽など身近な天体と人間生活の関わりを理解できている。				10
	【思考力、判断力、表現力 等】 太陽系を構成する天体とその広がりについて、科学的に考察することができる。	・教材 教科書、プリント資料、I C T 機器	【思考力、判断力、表現力 等】 太陽系を構成する天体とその広がりについて、科学的に考察し、適切な言葉で表現できている。	○	○	○	
	【学びに向かう力、人間性 等】 太陽系に関する事物・事象に進んで関わり、科学的に探究する態度を持つことができる。	・一人1台端末の活用（場面） 資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 太陽系に関する事物・事象に進んで関わり、科学的にさらに探究しようとしている。				
	定期考査（2 学期期末考査）						1

教 科：	理科	科 目：	科学と人間生活	単位数：	2
対象年次・クラス：	1 年次				
教 材：	教科書 科学と人間生活（東京書籍）				
	補助教材 プリント I C T 機器				

教科 目 標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	- 自然科学の基本概念や原理についての理解を深める。 - 環境問題やエネルギー問題など、現代社会に関わる科学技術についての見識を持つようになる。 - 自然科学的な問題について、分析し、考察し、解決策を導き出す能力を養う。	- 現象やデータを客観的に観察し、分析し、仮説を立てることができる思考力を養う。 - 課題について、科学的な立場から慎重かつ正確な判断を行うことができるようになる。 - 科学的な発見や知見を分かりやすく伝えることができる能力を身につける。	- 自分自身の学びの意欲や興味を持ち続ける力を養うことができるようになる。 - 他者や社会、環境に対する理解や尊重、配慮など、社会的な視野やコミュニケーション能力を育むことができる人間性を身につける。

科 目 目 標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	科学の発展と人間生活との関わりについて理解する。	自然科学について観察・実験などを行い人間生活と関連付けて科学的に考察し表現できる。	自然科学に主体的に関わり、見通しを持ったり、振り返ったりするなど、科学的にさらに探究しようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
3	単元 5 身近な天体と太陽系における地球	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 地球という惑星の概要を理解する。	・指導事項 地球、月	【知識及び技能】 地球の概要について理解できている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 望遠鏡で月の観察を行い、地球との違いを考えることができる。	・教材 教科書、プリント資料、I C T 機器	【思考力、判断力、表現力 等】 月の観察と調べた情報をもとに、自分の考えを科学的に説明できている。	○	○	○	8
	【学びに向かう力、人間性 等】 月と人間生活に進んで関わり、科学に対する興味・関心を高める。	・一人1台端末の活用（場面） 資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 月の動きを人間生活と関連付けて、見通しを持って振り返るなど、科学的に探究しようとしている。				
学 期	単元 6 身近な自然景観と自然災害	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 大気や水の動き、地震や火山、津波の仕組みを理解する。	・指導事項 大気、水、自然災害	【知識及び技能】 大気や水の動き、地震や火山、津波などの自然災害の仕組みを理解できている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 日本列島の自然災害について、防災の意味や方法を考えることができる。	・教材 教科書、プリント資料、I C T 機器	【思考力、判断力、表現力 等】 日本列島の自然災害について、防災の意味や方法を考え、言葉で説明することができる。	○	○	○	9
	【学びに向かう力、人間性 等】 自然景観や自然災害についての意識を高めることができる。	・一人1台端末の活用（場面） 資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 自然景観の維持や災害から命や社会を守るための対策について、自分の考えを持つことができている。				
	定期考査（学年末考査）						1

教 科：	保健体育	科 目：	体育	単位数：	2
対象年次・クラス：	1 年次				
教 材：	教科書	新 高等保健体育（大修館）			
	補助教材				

	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
教科 目 標	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付ける。	運動や健康についての自己や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯にわたって継続して運動に親しみ健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営もうとする。

	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
科 目 目 標	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考、判断し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲をもち、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しもうとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評 価 規 準	知	思	態	配当時数
1 学 期	単元 1 体育理論	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 運動やスポーツが多様であることを理解できる。	・指導事項 運動、スポーツの文化的特徴	【知識及び技能】 運動、スポーツの特性や発展、効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフ設計の仕方について理解できている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考、判断できる。	・教材 教科書等	【思考力、判断力、表現力 等】 運動やスポーツについて、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考、判断し、言葉で伝えることができている。	○	○	○	4
	【学びに向かう力、人間性 等】 豊かなスポーツライフの設計に積極的に取り組める。	・一人1台端末の活用（場面）	【主体的に学習に取り組む態度】 豊かなスポーツライフの設計に積極的に取り組み、継続して運動に親しむ姿勢を持つことができている。				
	単元 2 体づくり運動	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則等を理解できる。	・指導事項 体づくり	【知識及び技能】 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方等を理解できている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 自己や仲間の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考、判断できる。	・教材 教科書等	【思考力、判断力、表現力 等】 自己や仲間の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考、判断し、他者に伝えることができている。	○	○	○	10
	【学びに向かう力、人間性 等】 教え合い、1人1人に応じた動きを大切にし、健康や安全を確保できる。	・一人1台端末の活用（場面）	【主体的に学習に取り組む態度】 体づくり運動に主体的に取り組む、1人1人の違いに応じた動きを大切にし、互いに助け合い高め合うことができている。健康や安全を確保しようとする姿勢を持つことができている。				
	単元 3 バレーボール	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 安定したボール操作の行い方や技術を理解し、技能の習得をすることができる。	・指導事項 ルール、技術練習、ゲーム、振り返り	【知識及び技能】 基本的なルール、技術の名称や行い方を理解し、ボール操作ができている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考、判断できる。	・教材 教科書等	【思考力、判断力、表現力 等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて取り組みを工夫できている。状況に応じた技能で仲間と連携し、ゲームを展開できている。	○	○	○	14
	【学びに向かう力、人間性 等】 協働したり勝敗を競ったりするスポーツに親しむ態度を持つことができる。	・一人1台端末の活用（場面） 各技能の観察・自己評価	【主体的に学習に取り組む態度】 フェアなプレイを大切にして勝敗を競ったり、協働したりしてスポーツに親しむ態度を継続しようとしている。				

教 科：	保健体育	科 目：	体育	単位数：	2
対象年次・クラス：	1 年次				
教 材：	教科書	新 高等保健体育（大修館）			
	補助教材	0			

教科目標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付ける。	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯にわたって継続して運動に親しみ健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営もうとする。

科目目標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考、判断し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲をもち、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しもうとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
2 学 期	単元 4 バドミントン	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 安定したラケット操作の使い方や技術を理解し、技能の習得をすることができる。	・指導事項 ルール、技術練習、ゲーム、振り返り	【知識及び技能】 基本的なルール、技術の名称や行い方を理解し、ラケット操作ができています。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考、判断できる。	・教材 教科書等	【思考力、判断力、表現力 等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて取り組みを工夫できている。状況に応じた技能で仲間と連携し、ゲームを展開できている。	○	○	○	16
	【学びに向かう力、人間性 等】 協働したり勝敗を競ったりするスポーツに親しむ態度を持つことができる。	・一人1台端末の活用（場面） 各技能の観察・自己評価	【主体的に学習に取り組む態度】 フェアなプレイを大切にして勝敗を競ったり、協働したりしてスポーツに親しむ態度を継続しようとしている。				
	単元 5 バスケットボール	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 安定したボール操作の行い方や技術を理解し、技能の習得をすることができる。	・指導事項 ルール、技術練習、ゲーム、振り返り	【知識及び技能】 基本的なルール、技術の名称や行い方を理解し、ボール操作ができています。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考、判断できる。	・教材 教科書等	【思考力、判断力、表現力 等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて取り組みを工夫できている。状況に応じた技能で仲間と連携し、ゲームを展開できている。	○	○	○	16
	【学びに向かう力、人間性 等】 協働したり勝敗を競ったりするスポーツに親しむ態度を持つことができる。	・一人1台端末の活用（場面） 各技能の観察・自己評価	【主体的に学習に取り組む態度】 フェアなプレイを大切にして勝敗を競ったり、協働したりしてスポーツに親しむ態度を継続しようとしている。				

教 科：	保健体育	科 目：	体育	単位数：	2
対象年次・クラス：	1 年次				
教 材：	教科書	新 高等保健体育（大修館）			
	補助教材	0			

教 科 目 標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付ける。	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯にわたって継続して運動に親しみ健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営もうとする。

科 目 目 標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考、判断し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲をもち、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しもうとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評 価 規 準	知	思	態	配当時数
3 学 期	単元 6 持久走	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 自己に適したペースで走ることができる。	・指導事項 自己のペースの発見・向上 快適な走り	【知識及び技能】 自己に適したペースを維持することを理解し、安定した走りができている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 体力や技能の程度、性別の違いに配慮し、記録の向上に向けて思考することができる。	・教材	【思考力、判断力、表現力 等】 ペースの把握や対応を考えながら競走することができる。	○	○	○	10
	【学びに向かう力、人間性 等】 1人1人の違いに応じた挑戦を大切にできる。	・一人1台端末の活用（場面）	【主体的に学習に取り組む態度】 1人1人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしながら、意欲的に参画することができる。				
	単元 7 卓球	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 安定したラケット操作の使い方や技術を理解し、技能の習得をすることができる。	・指導事項 ルール、技術練習、ゲーム、振り返り	【知識及び技能】 基本的なルール、技術の名称や行い方を理解し、ラケット操作ができている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考、判断できる。	・教材 教科書等	【思考力、判断力、表現力 等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて取り組みを工夫できている。状況に応じた技能で仲間と連携し、ゲームを展開できている。	○	○	○	8
	【学びに向かう力、人間性 等】 協働したり勝敗を競ったりするスポーツに親しむ態度を持つことができる。	・一人1台端末の活用（場面） 各技能の観察・自己評価	【主体的に学習に取り組む態度】 フェアなプレイを大切にして勝敗を競ったり、協働したりしてスポーツに親しむ態度を継続しようとしている。				

教 科：		保健体育		科 目：		保健		単位数：		1	
対象年次・クラス：		1 年次									
教 材：	教科書	新 高等保健体育（大修館）									
	補助教材	プリント I C T 機器									

教科目標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付ける。	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯にわたって継続して運動に親しみ健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営もうとする。

科目目標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	個人及び社会生活における健康・安全について理解し、技能を身に付ける。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考、判断し、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営もうとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評 価 規 準	知	思	態	配当時数
1 学 期	単元 1 健康の考え方と成り立ち 【知識及び技能】 我が国の国民の健康課題について理解する。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 国民の健康課題 健康の考え方	次の観点別評価基準により評価する。 【知識及び技能】 我が国の健康に関する各種指標や疾病構造の変化を通して、国民の健康課題について理解できている。				3
	【思考力、判断力、表現力 等】 健康について、自他や社会の課題の解決方法を考察することができる。	・教材 教科書等	【思考力、判断力、表現力 等】 健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などをまとめることができる。	○	○	○	
	【学びに向かう力、人間性 等】 健康についての意識を高めることができる。	・一人1台端末の活用（場面） 資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 健康についての意識を高め、明るく活力ある生活を営もうとする姿勢を持つことができる。				
	単元 2 健康の保持増進のための適切な意思決定や環境づくり 【知識及び技能】 健康の保持増進について理解する。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 健康の保持増進のための意思決定、行動選択	次の観点別評価基準により評価する。 【知識及び技能】 健康の保持増進に関わる環境や、必要な考え方について理解できている。				4
	【思考力、判断力、表現力 等】 国民の健康課題について資料分析ができる。	・教材 教科書等	【思考力、判断力、表現力 等】 国民の健康課題についてデータや資料に基づいた分析をし、解決方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理し、論理的に説明することができる。	○	○	○	
	【学びに向かう力、人間性 等】 健康の保持増進についての意識を高めることができる。	・一人1台端末の活用（場面） 資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 健康の保持増進についての意識を高め、明るく活力ある生活を営もうとする姿勢を持つことができる。				
	単元 3 現代の感染症とその予防 【知識及び技能】 性感染症や新たな性感染症について理解する。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 様々な感染症発生の成り立ち、リスク、対策	次の観点別評価基準により評価する。 【知識及び技能】 エイズを含む感染症の発生の仕組みや対策について、理解できている。				3
	【思考力、判断力、表現力 等】 現代の感染症について考察できる。	・教材 教科書等	【思考力、判断力、表現力 等】 現代の感染症とその予防について、個人や社会生活と関連付けて課題を発見し、論理的に説明できている。	○	○	○	
	【学びに向かう力、人間性 等】 感染症についての意識を高めることができる。	・一人1台端末の活用（場面） 資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 感染症についての意識を高め、正しく予防する姿勢を持つことができる。				
	単元 4 生活習慣病などの予防と回復 【知識及び技能】 様々な生活習慣病について理解する。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 様々な生活習慣病についての知識、今後の課題	次の観点別評価基準により評価する。 【知識及び技能】 がんを含む様々な生活習慣病についてのリスクや予防、社会的対策について理解できている。				3
	【思考力、判断力、表現力 等】 生活習慣病の予防や回復について考察できる。	・教材 教科書等	【思考力、判断力、表現力 等】 生活習慣病の予防と回復について、個人や社会生活と関連付けて課題を発見し、論理的に説明できている。	○	○	○	
	【学びに向かう力、人間性 等】 生活習慣病についての意識を高めることができる。	・一人1台端末の活用（場面） 資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 生活習慣病についての意識を高め、正しく予防する姿勢を持つことができる。				
	定期考査（1学期期末考査）						1

教 科：	保健体育	科 目：	保健	単位数：	1
対象年次・クラス：	1 年次				
教 材：	教科書	新 高等保健体育（大修館）			
	補助教材	プリント I C T 機器			

教科目標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付ける。	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯にわたって継続して運動に親しみ健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営もうとする。

科目目標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	個人及び社会生活における健康・安全について理解し、技能を身に付ける。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考、判断し、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営もうとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評 価 規 準	知	思	態	配当時数
学 期	単元 5 食事、休養、睡眠	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 食事、休養・睡眠の重要性について理解する。	・指導事項 食事と健康、休養・睡眠と健康	【知識及び技能】 健康にとっての食事、休養・睡眠の意味について理解できている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 食事、休養・睡眠が健康な生活に大きく関わることに考察できる。	・教材 教科書等	【思考力、判断力、表現力 等】 食事、休養・睡眠について、自身の生活と関連付けて課題を発見し、論理的に説明できている。	○	○	○	3
	【学びに向かう力、人間性 等】 健康で活力ある生活を営む意識を高めることができる。	・一人1台端末の活用（場面） 資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 健康で明るい生活を営む姿勢を持つことができている。				
	単元 6 喫煙と健康	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 喫煙の弊害を理解する。	・指導事項 喫煙と健康	【知識及び技能】 喫煙は生活習慣病などの要因となることを理解できている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 喫煙の防止について、身近な例を挙げながら考察できる。	・教材 教科書等	【思考力、判断力、表現力 等】 喫煙の防止について、自身や社会生活と関連付けて、課題を発見し、論理的に説明できている。	○	○	○	4
	【学びに向かう力、人間性 等】 健康で活力ある生活を営む意識を高めることができる。	・一人1台端末の活用（場面） 資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 健康で明るい生活を営む姿勢を持つことができている。				
	単元 7 飲酒、薬物乱用	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 飲酒、薬物乱用の弊害を理解する。	・指導事項 飲酒と健康、薬物乱用と健康	【知識及び技能】 飲酒、薬物乱用は生活習慣病などの要因となることを理解できている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 飲酒、薬物乱用の防止について、身近な例を挙げながら考察できる。	・教材 教科書等	【思考力、判断力、表現力 等】 飲酒、薬物乱用の防止について、自身や社会生活と関連付けて、課題を発見し、論理的に説明できている。	○	○	○	4
	【学びに向かう力、人間性 等】 健康で活力ある生活を営む意識を高めることができる。	・一人1台端末の活用（場面） 資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 健康で明るい生活を営む姿勢を持つことができている。				
	単元 8 精神疾患の予防と回復	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 精神疾患について理解する。	・指導事項 精神疾患の特徴、その対処	【知識及び技能】 精神疾患の種類や症状、その対応について理解できている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 精神疾患の予防と回復について、身近な例を挙げながら考察できる。	・教材 教科書等	【思考力、判断力、表現力 等】 精神疾患の予防と回復について、自身や社会生活と関連付けて、課題を発見し、論理的に説明できている。	○	○	○	4
	【学びに向かう力、人間性 等】 健康で活力ある生活を営む意識を高めることができる。	・一人1台端末の活用（場面） 資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 健康で明るい生活を営む姿勢を持つことができている。				
定期考査（2学期期末考査）							1

教 科：	保健体育	科 目：	保健	単位数：	1
対象年次・クラス：	1 年次				
教 材：	教科書	新 高等保健体育（大修館）			
	補助教材	プリント I C T 機器			

教科目標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付ける。	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯にわたって継続して運動に親しみ健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営もうとする。

科目目標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	個人及び社会生活における健康・安全について理解し、技能を身に付ける。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考、判断し、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営もうとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評 価 規 準	知	思	態	配当時数
3 学 期	単元 9 事故の現状と発生要因	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 事故が起こる状況や要因を理解する。	・指導事項 交通事故とその防止	【知識及び技能】 様々な事故やそれを防止するのに必要な要因について理解できている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 若者による交通事故について考察できる。	・教材 教科書等	【思考力、判断力、表現力 等】 若者による交通事故について、その特徴や責任問題など課題を発見し、自分の言葉で説明できている。	○	○	○	3
	【学びに向かう力、人間性 等】 事故を防ぐ意識を高めることができる。	・一人1台端末の活用（場面） 資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 事故を未然に防ごうとする姿勢を持つことができる。				
	単元 10 安全な社会の形成	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 事故に遭遇した場合の応急手当について理解する。	・指導事項 応急手当	【知識及び技能】 応急手当の意義と緊急医療体制について理解できている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 安全な社会づくりについて、自他や社会の課題解決方法について考察できる。	・教材 教科書、実技等	【思考力、判断力、表現力 等】 安全な社会づくりについて、自他や社会の課題解決方法やそれを選択した理由について説明できている。	○	○	○	3
	【学びに向かう力、人間性 等】 安全な社会生活について意識を高めることができる。	・一人1台端末の活用（場面） 資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 安全な社会づくりの意識を高めることができる。				
	単元 11 世の中の応急手当	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 胸骨圧迫、人工呼吸、AEDによる除細動について理解する。	・指導事項 心肺蘇生	【知識及び技能】 胸骨圧迫、人工呼吸、AEDなどを理解し、連携して動くことができる。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 安全な社会づくりについて、自他や社会の課題解決方法について考察できる。	・教材 教科書、実技等	【思考力、判断力、表現力 等】 安全な社会づくりについて、自他や社会の課題解決方法やそれを選択した理由について説明できている。	○	○	○	2
	【学びに向かう力、人間性 等】 安全な社会生活について意識を高めることができる。	・一人1台端末の活用（場面） 資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 安全な社会づくりの意識を高めることができる。				
	定期考査（学年末考査）						1

科 目 目 標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	曲想と文化的、歴史的背景の関連性、音楽の多様性を理解している。歌唱、器楽、創作において表現技術を身に付けている。	自己の創意工夫によって豊かな音楽表現をできる。音楽の特徴を理解し、楽しさや面白さを味わって聴くことができる。	主体的に幅広い表現活動に取り組み、思いやりをもって協働することができる。生活や社会を豊かにしていることとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現鑑賞				評価基準	知	思	態	配当時間
			歌	器	創	賞					
1 学 期	単元 1 歌唱表現 【知識及び技能】 歌詞を明瞭にする方法を理解し、実践する。 【思考力、判断力、表現力 等】 歌詞の内容を理解し、どのような表現が適切か考え、楽譜上の記号もふまえた表現をする。 【学びに向かう力、人間性 等】 他者の意見を聞き、より良い表現に活かそうとする。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 正しい姿勢、発声、発音、記号 ・教材 教科書、補助教材 ・一人1台端末の活用（場面） 鑑賞、聴き比べ	○		○		次の観点別評価基準により評価する。 【知識及び技能】 正しい姿勢を作り、目的に応じた発声や発音を理解し、意識的に変えることができる。 【思考力、判断力、表現力 等】 自らの考えを明確に持ち、伝える表現方法を工夫することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な意見や表現方法を積極的に見聞し、取り組むことができる。	○	○	○	6
	単元 2 楽典 【知識及び技能】 音楽理論の基礎を理解する。 【思考力、判断力、表現力 等】 音楽理論の知識を、曲の理解、表現につなげる工夫をする。 【学びに向かう力、人間性 等】 読譜力を強化し、積極的に歌唱や鑑賞に取り組むことができる。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 音名、音階、調、リズム、創作等 ・教材 教科書、補助教材 ・一人1台端末の活用（場面） 鑑賞、聴き比べ	○		○		次の観点別評価基準により評価する。 【知識及び技能】 音楽理論の基礎を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力 等】 学習した音楽理論を基に、調を意識した表現ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 読譜の基礎事項を身に付け、様々な曲、音楽活動に対する関心を高めている。	○	○	○	6
	単元 3 日本のポピュラー音楽 【知識及び技能】 日本のポップスについて、歴史や音楽の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力 等】 他国との比較を、様々な着眼点から伝えられる。 【学びに向かう力、人間性 等】 日本のポップスについて、さらに興味を持って調べたり、進んで鑑賞したりする。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 歌唱、音階、リズム、歴史 ・教材 教科書、補助教材 ・一人1台端末の活用（場面） 鑑賞、聴き比べ	○		○	○	次の観点別評価基準により評価する。 【知識及び技能】 日本のポップスについて、背景や意味、特徴を理解できている。 【思考力、判断力、表現力 等】 考えたこと、感じたことを自分の言葉で伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本の様々なポップスについての関心を高めることができる。	○	○	○	16

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現鑑賞				評価基準	知	思	態	配当時間
			歌	器	創	賞					
2 学 期	単元 4 キーボード基礎 【知識及び技能】 五線譜の意味を理解する。 キーボードの構造を理解する。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 五線譜の意味、キーボードの構造、指使い					次の観点別評価基準により評価する。 【知識及び技能】 五線譜の意味とキーボードの構造を理解している。				8
	【思考力、判断力、表現力 等】 指使いを考えながら、メロディを弾ける。	・教材 教科書、補助教材		○	○		【思考力、判断力、表現力 等】 指使いを考えながら、滑らかにメロディを弾けている。	○	○	○	
	【学びに向かう力、人間性 等】 協調しながら技術を習得し、他者との関わりを通して自己の発展につなげることができる。	・一人1台端末の活用（場面） 聴き比べ					【主体的に学習に取り組む態度】 教え合い、協調しながら、より良い演奏になる努力をすることができている。				
	単元 5 キーボード応用 【知識及び技能】 基礎での学習を活かして、音階や簡単なパターンを演奏できる。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 演奏法向上					次の観点別評価基準により評価する。 【知識及び技能】 簡単なパターンを理解し、演奏できている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 曲に応じた表現を考えて演奏できる。	・教材 教科書、補助教材		○			【思考力、判断力、表現力 等】 曲に合う表現を考え、雰囲気を出した演奏ができている。	○	○	○	8
	【学びに向かう力、人間性 等】 自主的に楽しみながら演奏できる。	・一人1台端末の活用（場面） 聴き比べ					【主体的に学習に取り組む態度】 教え合い、協調し楽しみながら、より良い演奏になる努力をすることができている。				
	単元 6 海外のポピュラー音楽 【知識及び技能】 海外言語の読み方を理解し、発音の区別ができる。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 日本語歌唱との違い、海外のポップスの歴史と特徴					次の観点別評価基準により評価する。 【知識及び技能】 日本語との発音の違いを理解し、恥ずかしがらずに発声できている。				8
	【思考力、判断力、表現力 等】 海外言語特有のリズム感や響きを味わい、曲調に応じた表現を工夫する。	・教材 教科書、補助教材	○		○	○	【思考力、判断力、表現力 等】 日本語の歌との違いを意識して、表現を変える工夫が歌唱に表れている。	○	○	○	
	【学びに向かう力、人間性 等】 海外言語の歌唱学習や音楽史の学習と関連付けて、国際社会の問題にも関心を持つことができる。	・一人1台端末の活用（場面） 鑑賞、聴き比べ					【主体的に学習に取り組む態度】 偏見を持たずに世界を見て、多様性、共生の時代を豊かに明るくとらえる態度を持つことができている。				
	単元 7 世界の様々な音楽 【知識及び技能】 国内外の様々な音楽の存在について理解する。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 鑑賞、音楽の特徴、歴史					次の観点別評価基準により評価する。 【知識及び技能】 世界に視野を広げて、様々な音楽に触れ、多様な表現方法があることを理解できている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 ひとつひとつの音楽の中にある工夫や面白さについて考え、伝えることができる。	・教材 教科書、補助教材		○	○	○	【思考力、判断力、表現力 等】 音楽の中にある工夫を発見したり、面白さを感じる面について、自分の言葉で伝えることができている。	○	○	○	8
	【学びに向かう力、人間性 等】 教科枠にとらわれずに学ぶ姿勢がある。	・一人1台端末の活用（場面） 鑑賞、聴き比べ					【主体的に学習に取り組む態度】 音楽を通じて他分野にも及ぶ教養を身に付け、学習を楽しむ態度ができている。				

教科:	芸術	科目:	音楽Ⅰ	単位数:	2
対象年次・クラス:	1 年次音楽選択				
教材:	教科書	音楽Ⅰ Tutti+ (教育出版)			
	補助教材	歌のミュージックランド 楽しい歌とコーラス 7 訂版 (教育芸術社)			
教科目標	【 知 識 及 び 技 能 】		【 思考力、判断力、表現力 等 】		【 学びに向かう力、人間性 等 】
	表現及び鑑賞の活動を通して得た知識を応用しながら理解を深め、意図に基づいて表現するための技能を身に付けている。		創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができる。		生涯にわたり芸術を愛好する心情を育み、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を身に付けている。
科目目標	【 知 識 及 び 技 能 】		【 思考力、判断力、表現力 等 】		【 学びに向かう力、人間性 等 】
	曲想と文化的、歴史的背景の関連性、音楽の多様性を理解している。歌唱、器楽、創作において表現技術を身に付けている。		自己の創意工夫によって豊かな音楽表現をできる。音楽の特徴を理解し、楽しさや面白さを味わって聴くことができる。		主体的に幅広い表現活動に取り組み、思いやりをもって協働することができる。生活や社会を豊かにしていこうとしている。

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	表 現 鑑 賞		評 価 基 準	知	思	態	配当時数
3 学期	単元 8 日本伝統音楽	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	次の観点別評価基準により評価する。	○	○	○	8
	【知識及び技能】 日本の伝統芸能と音楽とのかわりを理解する。	・指導事項 日本の伝統芸能、国家、日本の音階			【知識及び技能】 日本の音楽の特徴を捉えた鑑賞ができています。 音楽の背景や意味を理解できています。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 他国との違い、理由を考え、伝えられる。	・教材 教科書、補助教材			【思考力、判断力、表現力 等】 自分の言葉で考えをまとめることができている。				
	【学びに向かう力、人間性 等】 広い視野で日本の伝統芸能や国家を改めて考え、国際社会に生きる日本人としての自覚を持つ。	・一人1台端末の活用（場面） 鑑賞、聴き比べ			【主体的に学習に取り組む態度】 日本各地の伝統文化や世界の国家などにも関心を持ち、進んで鑑賞したり調べたりしている。				
3 学期	単元 9 合唱	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	次の観点別評価基準により評価する。	○	○	○	10
	【知識及び技能】 1 年間の学習をもとに、合唱ができる。	・指導事項 総合			【知識及び技能】 楽譜通りに演奏、合唱し、イメージを作れている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 曲の理解を共有し、自他を活かす適切な表現を判断できる。	・教材 教科書、補助教材			【思考力、判断力、表現力 等】 考えを共有し工夫し合って、言葉で伝え合うことができている。				
	【学びに向かう力、人間性 等】 集団における自己の役割を自覚し、他者への思いやりを持つことができる。	・一人1台端末の活用（場面） 鑑賞、聴き比べ			【主体的に学習に取り組む態度】 自他が納得できる表現ができるように考えながら行動できている。				

教 科：	芸術	科 目：	美術 I	単位数：	2
対象年次・クラス：		1 年次美術選択			
教 材：	教科書	高校生の美術 1 （日本文教出版）			
	補助教材				

教科 目 標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	表現及び鑑賞の活動を通して得た知識を応用しながら理解を深め、意図に基づいて表現するための技能を身に付けている。	創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができる。	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育み、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を身に付けている。

科 目 目 標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。意図に応じた表現方法で創造的に表すことができる。	工夫や価値意識をもって美術作品のよさや美しさを深く味わうことができる。構成を考えて作品を完成させている。	様々な美術作品、表現法に触れ、豊かな情操を培い、今後の作品作りに活かそうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表 現 鑑			評 価 基 準	知	思	態	配当時間
			模・写	デ	映					
1 学 期	単元 1 デッサン	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 デッサンの基礎を理解する。	・指導事項 鉛筆デッサン				【知識及び技能】 デッサンの基礎を理解し、「ピン」デッサンを行っている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 形の取り方、グラデーションを考え、表現する。陰影、明暗のつけ方を考え、表現する。	・教材 教科書	○			【思考力、判断力、表現力 等】 形の取り方、グラデーションを考え、表現できている。陰影、明暗のつけ方を考え、表現できている。	○	○	○	10
	【学びに向かう力、人間性 等】 主体的に創作に取り組み、感性を高め、今後の作品作りに活かそうとする。	・一人1台端末の活用（場面）				【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に創作に取り組み、感性を高めることができている。今後の作品作りに活かそうとしている。				
	単元 2 デザイン	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 色彩、明度、色相、明青色、暗青色等の基本的な色彩の三要素を理解する。	・指導事項 デザイン 色彩基礎				【知識及び技能】 色彩、明度、色相、明青色、暗青色等の基本的な色彩の三要素を理解できている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 ポスターカラーの絵の具の溶き方、筆の持ち方等を適切に判断し、デザインに生かす。	・教材 教科書	○			【思考力、判断力、表現力 等】 ポスターカラーの絵の具の溶き方、筆の持ち方等を考え、デザインに生かしている。	○	○	○	10
	【学びに向かう力、人間性 等】 主体的に創作に取り組み、感性を高め、今後の作品作りに活かそうとする。	・一人1台端末の活用（場面）				【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に創作に取り組み、感性を高めることができている。今後の作品作りに活かそうとしている。				
	単元 3 静物画	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 アクリル絵の具で「静物画」を作成することを理解する。	・指導事項 静物画 「アクリル絵の具」				【知識及び技能】 アクリル絵の具で「静物画」を作成することを理解している。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 果物、ピン、石等のモチーフで制作の工程を考え、作品として表現する。	・教材 教科書	○			【思考力、判断力、表現力 等】 果物、ピン、石等のモチーフで制作の工程を考え、作品として表現し完成できている。	○	○	○	8
	【学びに向かう力、人間性 等】 主体的に創作に取り組み、感性を高め、今後の作品作りに活かそうとする。	・一人1台端末の活用（場面）				【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に創作に取り組み、感性を高めることができている。今後の作品作りに活かそうとしている。				

教 科：	芸術	科 目：	美術 I	単位数：	2
対象年次・クラス：	1 年次美術選択				
教 材：	教科書	高校生の美術 1（日本文教出版）			
	補助教材	0			

教科目標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	表現及び鑑賞の活動を通して得た知識を応用しながら理解を深め、意図に基づいて表現するための技能を身に付けている。	創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができる。	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育み、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を身に付けている。

科目目標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。意図に応じた表現方法で創造的に表すことができる。	工夫や価値意識をもって美術作品のよさや美しさを深く味わうことができる。構成を考えて作品を完成させている。	様々な美術作品、表現法に触れ、豊かな情操を培い、今後の作品作りに活かそうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表 現 鑑			評 価 基 準			知	思	態	配当時間
			模・写	デ	映							
2 学 期	単元 4 静物画	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価基準により評価する。						10
	【知識及び技能】 アクリル絵の具と油絵の具の違いを理解する。	・指導事項 静物画 「油絵具」				【知識及び技能】 アクリル絵の具と油絵の具の違いを理解している。						
	【思考力、判断力、表現力 等】 果物、ビン、石等のモチーフで制作の工程を考え、油絵の具と作品として表現する。	・教材 教科書	○			【思考力、判断力、表現力 等】 果物、ビン、石等のモチーフで制作の工程を考え、油絵の具で作品として表現し完成できている。			○	○	○	
	【学びに向かう力、人間性 等】 主体的に創作に取り組み、感性を高め、今後の作品作りに活かそうとする。	・一人1台端末の活用（場面）				【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に創作に取り組み、感性を高めることができている。今後の作品作りに活かそうとしている。						
	単元 5 レタリング	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価基準により評価する。						12
	【知識及び技能】 レタリングの種類と基礎を理解する。	・指導事項 レタリング 「絵文字」				【知識及び技能】 レタリングの種類と基礎を理解できている。						
	【思考力、判断力、表現力 等】 基本的な点画を大切にしながら、ユニークな絵文字を表現する。	・教材 教科書	○			【思考力、判断力、表現力 等】 基本的な点画を大切にしながら、ユニークな絵文字を表現できている。			○	○	○	
	【学びに向かう力、人間性 等】 主体的に創作に取り組み、感性を高め、今後の作品作りに活かそうとする。	・一人1台端末の活用（場面）				【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に創作に取り組み、感性を高めることができている。今後の作品作りに活かそうとしている。						
	単元 6 心象風景を描く	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価基準により評価する。						10
	【知識及び技能】 モダンテクニック（スパッタリング、コラージュ、ドリップング、パジック等）の使用を理解する。	・指導事項 モダンテクニックによる「心象風景」を描く				【知識及び技能】 モダンテクニック（スパッタリング、コラージュ、ドリップング、パジック等）の使用を理解している。						
	【思考力、判断力、表現力 等】 自分自身を見つめ、心の表現をする。	・教材 教科書	○	○	○	【思考力、判断力、表現力 等】 自分自身を見つめ、心の表現をすることができている。			○	○	○	
	【学びに向かう力、人間性 等】 主体的に創作に取り組み、感性を高め、今後の作品作りに活かそうとする。	・一人1台端末の活用（場面）				【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に創作に取り組み、感性を高めることができている。今後の作品作りに活かそうとしている。						

教 科：	芸術	科 目：	美術 I	単位数：	2
対象年次・クラス：	1 年次美術選択				
教 材：	教科書	高校生の美術 1（日本文教出版）			
	補助教材	0			

	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
教 科 目 標	表現及び鑑賞の活動を通して得た知識を応用しながら理解を深め、意図に基づいて表現するための技能を身に付けている。	創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができる。	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育み、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を身に付けている。

	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
科 目 目 標	対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。意図に応じた表現方法で創造的に表すことができる。	工夫や価値意識をもって美術作品のよさや美しさを深く味わうことができる。構成を考えて作品を完成させている。	様々な美術作品、表現法に触れ、豊かな情操を培い、今後の作品作りに活かそうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表 現			鑑 賞	評 価 基 準	知	思	態	配当時間
			模	写	映						
3 学 期	単元 6 心象風景を描く	指導項目に対し、次の教材等を活用する。					次の観点別評価基準により評価する。				8
	【知識及び技能】 モダンテクニック（スパッタリング、コラージュ、ドリッピング、パジャック等）の使用を理解する。	・指導事項 モダンテクニックによる「心象風景」を描く					【知識及び技能】 モダンテクニック（スパッタリング、コラージュ、ドリッピング、パジャック等）の使用を理解している。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 自分自身を見つめ、心の表現をする。	・教材 教科書	○	○	○	○	【思考力、判断力、表現力 等】 自分自身を見つめ、心の表現をすることができる。	○	○	○	
	【学びに向かう力、人間性 等】 主体的に創作に取り組み、感性を高め、今後の作品作りに活かそうとする。	・一人1台端末の活用（場面）					【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に創作に取り組み、感性を高めることができる。今後の作品作りに活かそうとしている。				
3 学 期	単元 7 点描	指導項目に対し、次の教材等を活用する。					次の観点別評価基準により評価する。				10
	【知識及び技能】 ドローイングペンによる作品作りを理解する。	・指導事項 点線画					【知識及び技能】 ドローイングペンによる作品作りを理解している。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 身近なモチーフ（貝殻、ペン、グラス、果物等）をよく観察し、点描を工夫しながら表現する。	・教材 教科書	○	○		○	【思考力、判断力、表現力 等】 身近なモチーフ（貝殻、ペン、グラス、果物等）をよく観察し、点描を工夫しながら表現できている。	○	○	○	
	【学びに向かう力、人間性 等】 主体的に創作に取り組み、感性を高め、今後の作品作りに活かそうとする。	・一人1台端末の活用（場面）					【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に創作に取り組み、感性を高めることができる。今後の作品作りに活かそうとしている。				

教科：	外国語	科目：	英語コミュニケーションⅠ	単位数：	4
対象年次・クラス：	1 年次三修制				
教材：	教科書	VISTA English CommunicationⅠ（三省堂）			
	補助教材	英単語ターゲット1200 改訂版 書き覚えノート（旺文社） ワークシート等 ICT機器			
教科目標	【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】
	読み取り、聞き取りに必要な単語、語句、文法を覚えたり、使用したりする。		学習内容を組み合わせ、自己の思いや考えを、話したり書いたりして英語で基礎的なコミュニケーションができる。		伝える相手を意識して、内容を整理し、よりわかりやすい表現をしようと工夫や努力ができる。
科目目標	【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】
	アルファベットから基本的な単語、語句、文法までを繰り返し覚える。		覚えた単語、文法を活用して、短い会話をしたり、短文を書くことができる。		粘り強く学習し、発音を磨いたり、単語をたくさん覚えたりして、英語に一層慣れ親しもうとする。

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	領 域				評 価 基 準	知	思	態	配当時間
			聞	読	話・書	読・書					
1 学期	単元 0 Get Ready! ①②	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 【知識及び技能】 アルファベットの読み書きができる。 単語の書き方がわかる。単語の調べ方がわかる。簡単な口頭練習ができる。 【思考力、判断力、表現力 等】 簡単な口頭練習で、考えを伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性 等】 授業での取組みや発表において、主体的に取り組むことができる。	○	○	○	○	次の観点別評価基準により評価する。 【知識及び技能】 基本的な単語を用いて、簡単な伝え合いを理解している。 【思考力、判断力、表現力 等】 簡単な口頭練習で、考えを伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業での取組みや発表において、主体的に取り組むことができる。	○	○	○	14
	単元 1 Lesson 1 Colors of Spring	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 【知識及び技能】 be動詞、一般動詞の現在形、疑問文、否定文が書けて、読める。 【思考力、判断力、表現力 等】 春の色について考え、英語で伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性 等】 授業での取組みや発表において、主体的に取り組むことができる。	○	○	○	○	次の観点別評価基準により評価する。 【知識及び技能】 基本的な単語・語句・文を用いて、即興で伝え合う技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力 等】 春の色について理解したことを基に考え、伝え合うことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業での取組みや発表において、主体的に取り組むことができる。	○	○	○	13
	定期考査（1学期中間考査）										1
	単元 2 Lesson2 Dick Bruna	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 【知識及び技能】 be動詞、一般動詞の過去形、疑問文、否定文が書けて、読める。 【思考力、判断力、表現力 等】 ミッフィーの生みの親について知ったことを伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性 等】 授業での取組みや発表において、主体的に取り組むことができる。	○	○	○	○	次の観点別評価基準により評価する。 【知識及び技能】 基本的な単語・語句・文を用いて、即興で伝え合う技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力 等】 ミッフィーの生みの親について知ったことや作品を基に、活躍を伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業での取組みや発表において、主体的に取り組むことができる。	○	○	○	14
	単元 3 Lesson 3 Interesting Sports	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 【知識及び技能】 現在進行形、その疑問文、否定文が書けて、読める。過去進行形、その疑問文、否定文が書けて、読める。 【思考力、判断力、表現力 等】 興味のあるスポーツについて英語で伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性 等】 授業での取組みや発表において、主体的に取り組むことができる。	○	○	○	○	次の観点別評価基準により評価する。 【知識及び技能】 基本的な単語・語句・文を用いて、即興で伝え合う技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力 等】 面白いスポーツについて知ったことを基に、自分が挑戦してみたいスポーツについて伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業での取組みや発表において、主体的に取り組むことができる。	○	○	○	13
	定期考査（1学期期末考査）										1

教科：	外国語	科目：	英語コミュニケーションⅠ	単位数：	4
対象年次・クラス：	1 年次三修制				
教材：	教科書	VISTA English CommunicationⅠ（三省堂）			
	補助教材	英単語ターゲット1200 改訂版 書き覚えノート（旺文社） ワークシート等 ICT機器			
教科目標	【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】
	読み取り、聞き取りに必要な単語、語句、文法を覚えたり、使用したりする。		学習内容を組み合わせて、自己の思いや考えを、話したり書いたりして英語で基礎的なコミュニケーションができる。		伝える相手を意識して、内容を整理し、よりわかりやすい表現をしようと工夫や努力ができる。
科目目標	【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】
	アルファベットから基本的な単語、語句、文法までを繰り返し覚える。		覚えた単語、文法を活用して、短い会話をしたり、短文を書くことができる。		粘り強く学習し、発音を磨いたり、単語をたくさん覚えたりして、英語に一層慣れ親しもうとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領 域				評 価 基 準	知	思	態	配当時数	
			聞	読	話・書	読・書						
2 学 期	単元 4 Lesson 4 Pictograms	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 【知識及び技能】 助動詞の使用法を理解し、書いて、読める。 動名詞の使用法を理解し、書いて、読める。 【思考力、判断力、表現力 等】 ピクトグラムの役割について考えたことを伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性 等】 授業での取組みや発表において、主体的に取り組むことができる。	・指導事項 助動詞、動名詞					次の観点別評価基準により評価する。 【知識及び技能】 基本的な単語・語句・文を用いて、即興で伝え合う技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力 等】 ピクトグラムの役割について理解したことを基に考え、伝え合うことができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業での取組みや発表において、主体的に取り組むことができる。				16
	単元 5 Lesson 5	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 【知識及び技能】 不定詞を用い、話したり、書いたりできる。 【思考力、判断力、表現力 等】 岩合さんの動物と自然への思いについて、読み取ったことを伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性 等】 授業での取組みや発表において、主体的に取り組むことができる。	・指導事項 不定詞					次の観点別評価基準により評価する。 【知識及び技能】 基本的な単語・語句・文を用いて、即興で伝え合う技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力 等】 岩合さんの動物と自然への思いについて、読み取ったことを伝え合うことができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業での取組みや発表において、主体的に取り組むことができる。				15
	定期考査（2学期中間考査）										1	
	単元 6 Lesson 6	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 【知識及び技能】 現在完了形を用い、話したり、書いたりできる。 【思考力、判断力、表現力 等】 世界遺産について知っていることや調べたことを伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性 等】 授業での取組みや発表において、主体的に取り組むことができる。	・指導事項 現在完了形					次の観点別評価基準により評価する。 【知識及び技能】 基本的な単語・語句・文を用いて、即興で伝え合う技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力 等】 世界遺産について知っていることを紹介したり、調べてわかったことをまとめたりして、伝え合うことができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業での取組みや発表において、主体的に取り組むことができる。				16
	単元 7 Lesson 7	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 【知識及び技能】 受け身の表現を用い、話したり、書いたりできる。 【思考力、判断力、表現力 等】 人とAIが共存する未来について考え、伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性 等】 授業での取組みや発表において、主体的に取り組むことができる。	・指導事項 受け身					次の観点別評価基準により評価する。 【知識及び技能】 基本的な単語・語句・文を用いて、即興で伝え合う技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力 等】 人とAIの共存について理解したことを基にその未来について考え、伝え合うことができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業での取組みや発表において、主体的に取り組むことができる。				15
	定期考査（2学期期末考査）										1	

教科:	外国語	科目:	英語コミュニケーション I	単位数:	4
対象年次・クラス:	1 年次三修制				
教材:	教科書	VISTA English Communication I (三省堂)			
	補助教材	英単語ターゲット1200 改訂版 書き覚えノート (旺文社) ワークシート等 ICT 機器			
教科目標	【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】
	読み取り、聞き取りに必要な単語、語句、文法を覚えたり、使用したりする。		学習内容を組み合わせて、自己の思いや考えを、話したり書いたりして英語で基礎的なコミュニケーションができる。		伝える相手を意識して、内容を整理し、よりわかりやすい表現をしようと工夫や努力ができる。
科目目標	【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】
	アルファベットから基本的な単語、語句、文法までを繰り返し覚える。		覚えた単語、文法を活用して、短い会話をしたり、短文を書くことができる。		粘り強く学習し、発音を磨いたり、単語をたくさん覚えたりして、英語に一層慣れ親しもうとする。

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	領 域				評 価 基 準		知	思	態	配当時数
			聞	読	話・書	読・書						
3 学 期	単元 8 Lesson 8	指導項目に対し、次の教材等を活用する。					次の観点別評価基準により評価する。					
	【知識及び技能】 関係代名詞を用い、話したり、書いたりできる。	・指導事項 関係代名詞					【知識及び技能】 基本的な単語・語句・文を用いて、即興で伝え合う技能を身に付けている。					
	【思考力、判断力、表現力 等】 クリスマス文化について学び、伝え合うことができる。	・教材 教科書、単語帳、プリント等	○	○	○	○	【思考力、判断力、表現力 等】 クリスマス文化について理解したことを基に、子どもの気持ちや大人の思いを感じ取り、伝え合うことができています。		○	○	○	12
	【学びに向かう力、人間性 等】 授業での取組みや発表において、主体的に取り組むことができる。	・一人1台端末の活用（場面） 課題の提示、調べ学習					【主体的に学習に取り組む態度】 授業での取組みや発表において、主体的に取り組むことができています。					
	単元 9 Lesson 9	指導項目に対し、次の教材等を活用する。					次の観点別評価基準により評価する。					
	【知識及び技能】 名詞を修飾する分詞・関係副詞を用い、話したり、書いたりできる。	・指導事項 名詞を修飾する分詞・関係副詞					【知識及び技能】 基本的な単語・語句・文を用いて、即興で伝え合う技能を身に付けている。					
	【思考力、判断力、表現力 等】 芸術を通じた平和への祈りについて考え、伝え合うことができる。	・教材 教科書、単語帳、プリント等	○	○	○	○	【思考力、判断力、表現力 等】 人々の絆を結ぶプロジェクトについて理解したことを基に考え、平和についての自分の考えを伝え合うことができています。		○	○	○	12
	【学びに向かう力、人間性 等】 授業での取組みや発表において、主体的に取り組むことができる。	・一人1台端末の活用（場面） 課題の提示、調べ学習					【主体的に学習に取り組む態度】 授業での取組みや発表において、主体的に取り組むことができています。					
	単元 10 Lesson 10	指導項目に対し、次の教材等を活用する。					次の観点別評価基準により評価する。					
	【知識及び技能】 比較の表現を用い、話したり、書いたりできる。	・指導事項 比較					【知識及び技能】 基本的な単語・語句・文を用いて、即興で伝え合う技能を身に付けている。					
	【思考力、判断力、表現力 等】 未来の社会のために「エンカル」を選択することを考え、伝え合うことができる。	・教材 教科書、単語帳、プリント等	○	○	○	○	【思考力、判断力、表現力 等】 ファッションなど身近なテーマをきっかけにSDG sと関連付けて考え、伝え合うことができています。		○	○	○	11
	【学びに向かう力、人間性 等】 授業での取組みや発表において、主体的に取り組むことができる。	・一人1台端末の活用（場面） 課題の提示、調べ学習					【主体的に学習に取り組む態度】 授業での取組みや発表において、主体的に取り組むことができています。					
定期考査（学年末考査）												1

[illegible]

教 科 :	外国語	科 目 :	英語コミュニケーションⅠ	単位数 :	2
対象年次・クラス :	1 年次四修制				
教 材 :	教科書	VISTA English Communication Ⅰ (三省堂)			
	補助教材	英単語ターゲット1200 改訂版 書き覚えノート (旺文社) プリント I C T 機器			

教科目標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	読み取り、聞き取りに必要な単語、語句、文法を覚えたり、使用したりする。	学習内容を組み合わせて、自己の思いや考えを、話したり書いたりして英語で基礎的なコミュニケーションができる。	伝える相手を意識して、内容を整理し、よりわかりやすい表現をしようと工夫や努力ができる。

科目 目 標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	アルファベットから基本的な単語、語句、文法までを繰り返し覚える。	覚えた単語、文法を活用して、短い会話をしたり、短文を書くことができる。	粘り強く学習し、発音を磨いたり、単語をたくさん覚えたりして、英語に一層慣れ親しもうとする。

[illegible]

教 科 :	外国語	科 目 :	英語コミュニケーションⅠ	単位数 :	2
対象年次・クラス :	1 年次四修制				
教 材 :	教科書	VISTA English Communication Ⅰ (三省堂)			
	補助教材	英単語ターゲット1200 改訂版 書き覚えノート (旺文社) プリント ICT機器			

教科目標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	読み取り、聞き取りに必要な単語、語句、文法を覚えたり、使用したりする。	学習内容を組み合わせて、自己の思いや考えを、話したり書いたりして英語で基礎的なコミュニケーションができる。	伝える相手を意識して、内容を整理し、よりわかりやすい表現をしようと工夫や努力ができる。

科目目標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	アルファベットから基本的な単語、語句、文法までを繰り返し覚える。	覚えた単語、文法を活用して、短い会話をしたり、短文を書くことができる。	粘り強く学習し、発音を磨いたり、単語をたくさん覚えたりして、英語に一層慣れ親しもうとする。

[illegible]

教科：	産業社会と人間	科目：	産業社会と人間	単位数：	2
対象年次・クラス：	1 年次				
教材：	プリント ICT機器				

教科目標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	社会人としての基礎力を身に付ける。	得た知識や自己の考えを、話したり書いたりして、他者に伝えることができる。	将来の自己のあり方、生き方について、自らさらに学習する。

科目目標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	自己分析をし、様々な進路、職業について基本的事項を知る。	学んだことや調べ学習で得た知識をもとに、プレゼンテーションの構成を考え、発表ができる。	粘り強く学習し、学び合ったり、教え合ったりして、コミュニケーション能力を高め、職業や進路について、時間をかけてより一層考察する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当時数
1 学 期	単元 1 学ぶことの意義	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 人間関係、生きていくための基礎力を理解する。	・指導事項 ・エンカウンター ・少し年上の方々の話を聞き、高校生活に見通しを持つこと等	【知識及び技能】 人との出会いや関わりで新しく知ったことを、正しく理解できている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 課題を的確に捉え、解決に向けて論理的に考えることができる。	・教材 ワークシート、講話、演習等	【思考力、判断力、表現力 等】 人とのかかわりの中で、自分の考えや判断を表現できている。	○	○	○	6
	【学びに向かう力、人間性 等】 学習を振り返り、自立・自律に役立てようとする。	・一人1台端末の活用（場面） 資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 社会貢献や自己を活かす気持ちを高めることができている。				
	単元 2 様々な職業の人の話	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 望ましい勤労観・職業観を身に付ける。	・指導事項 様々な職業を知る	【知識及び技能】 勤労・職業について新しく知ったことを、正しく理解できている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 課題を的確に捉え、解決に向けて論理的に考えることができる。	・教材 ワークシート、講話、演習等	【思考力、判断力、表現力 等】 人とのかかわりの中で、自分の考えや判断を表現できている。	○	○	○	6
	【学びに向かう力、人間性 等】 学習を振り返り、自立・自律に役立てようとする。	・一人1台端末の活用（場面） 資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 社会貢献や自己を活かす気持ちを高めることができている。				
	単元 3 生活設計、リスク管理	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 生きていくための基礎力を理解する。	・指導事項 フューチャーズライブを通しての職業理解、将来の生き方	【知識及び技能】 将来のことやリスクについて新しく知ったことを、正しく理解できている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 課題を的確に捉え、解決に向けて論理的に考えることができる。	・教材 ワークシート、講話、演習等	【思考力、判断力、表現力 等】 人とのかかわりの中で、自分の考えや判断を表現できている。	○	○	○	8
	【学びに向かう力、人間性 等】 学習を振り返り、自立・自律に役立てようとする。	・一人1台端末の活用（場面） 資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 社会貢献や自己を活かす気持ちを高めることができている。				
	単元 4 様々な学習	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 人間関係、生きていくための基礎力を理解する。	・指導事項 模擬選挙、安全な生活、進路小論文 等	【知識及び技能】 社会で生きていく上で新しく知ったことを、正しく理解できている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 課題を的確に捉え、解決に向けて論理的に考えることができる。	・教材 ワークシート、講話、演習等	【思考力、判断力、表現力 等】 人とのかかわりの中で、自分の考えや判断を表現できている。	○	○	○	8
	【学びに向かう力、人間性 等】 学習を振り返り、自立・自律に役立てようとする。	・一人1台端末の活用（場面） 資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 社会貢献や自己を活かす気持ちを高めることができている。				

教科：	産業社会と人間	科目：	産業社会と人間	単位数：	2
対象年次・クラス：	1 年次				
教 材：		プリント I C T 機器			
		0			

教科目標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	社会人としての基礎力を身に付ける。	得た知識や自己の考えを、話したり書いたりして、他者に伝えることができる。	将来の自己のあり方、生き方について、自らさらに学習する。

科目目標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	自己分析をし、様々な進路、職業について基本的事項を知る。	学んだことや調べ学習で得た知識をもとに、プレゼンテーションの構成を考え、発表ができる。	粘り強く学習し、学び合ったり、教え合ったりして、コミュニケーション能力を高め、職業や進路について、時間をかけてより一層考察する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当時数
2 学 期	単元 5 進路を考える 【知識及び技能】 幾つかの進路について、調べることができる。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 就職、進学、お金、面接 等	次の観点別評価基準により評価する。 【知識及び技能】 幾つかの進路について調べ、新しく知ったことを、正しく理解できている。	○	○	○	10
	【思考力、判断力、表現力 等】 様々な人やインターネット等から収集した情報をもとに、考えをまとめることができる。	・教材 ワークシート、講話、演習等	【思考力、判断力、表現力 等】 人とのかかわりの中で、自分の考えや判断を表現できている。				
	【学びに向かう力、人間性 等】 学習を振り返り、自立・自律に役立てようとする。	・一人1台端末の活用（場面） 資料提示、調べ学習	【主体的に学習に取り組む態度】 社会貢献や自己を活かす気持ちを高めることができる。				
	単元 6 職業理解 【知識及び技能】 望ましい勤労観・職業観を身に付ける。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 様々な職業を知る	次の観点別評価基準により評価する。 【知識及び技能】 勤労・職業について新しく知ったことを、正しく理解できている。	○	○	○	14
	【思考力、判断力、表現力 等】 課題を的確に捉え、解決に向けて論理的に考えることができる。	・教材 ワークシート、講話、演習等	【思考力、判断力、表現力 等】 人とのかかわりの中で、自分の考えや判断を表現できている。 プレゼンテーションの構成を考え、効果的な発表ができている。				
	【学びに向かう力、人間性 等】 学習を振り返り、自立・自律に役立てようとする。	・一人1台端末の活用（場面） 資料提示、調べ学習、発表	【主体的に学習に取り組む態度】 社会貢献や自己を活かす気持ちを高めることができる。				
	単元 7 様々な学習 【知識及び技能】 人間関係、生きていくための基礎力を理解する。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 レディネステスト、面接 等	次の観点別評価基準により評価する。 【知識及び技能】 社会で生きていく上で新しく知ったことを、正しく理解できている。	○	○	○	8
	【思考力、判断力、表現力 等】 課題を的確に捉え、解決に向けて論理的に考えることができる。	・教材 ワークシート、講話、演習等	【思考力、判断力、表現力 等】 人とのかかわりの中で、自分の考えや判断を表現できている。				
	【学びに向かう力、人間性 等】 学習を振り返り、自立・自律に役立てようとする。	・一人1台端末の活用（場面） 資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 社会貢献や自己を活かす気持ちを高めることができる。				

教科：	産業社会と人間	科目：	産業社会と人間	単位数：	2
対象年次・クラス：	1 年次				
教材：	プリント ICT 機器				
	0				

	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
教科目標	社会人としての基礎力を身に付ける。	得た知識や自己の考えを、話したり書いたりして、他者に伝えることができる。	将来の自己のあり方、生き方について、自らさらに学習する。

	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
科目目標	自己分析をし、様々な進路、職業について基本的事項を知る。	学んだことや調べ学習で得た知識をもとに、プレゼンテーションの構成を考え、発表ができる。	粘り強く学習し、学び合ったり、教え合ったりして、コミュニケーション能力を高め、職業や進路について、時間をかけてより一層考察する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当時数
3 学 期	単元 8 情報社会に生きる	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 フェイクニュース等様々な情報の存在を理解する。	・指導事項 情報の適切な活用法	【知識及び技能】 情報の扱い方、活用法について理解できている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 課題を的確に捉え、解決に向けて論理的に考えることができる。	・教材 ワークシート、講話、演習等	【思考力、判断力、表現力 等】 話し合ったり、教え合ったりする中で、自分の考えや判断を表現できている。	○	○	○	6
	【学びに向かう力、人間性 等】 学習を振り返り、自立・自律に役立てようとする。	・一人1台端末の活用（場面） 資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 社会貢献や自己を活かす気持ちを高めることができる。				
	単元 9 商売の楽しさとむずかしさ	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 商売成立の実現のための基礎を理解する。	・指導事項 近くて便利なお店作り模擬体験 等	【知識及び技能】 実現していく手立て、他者を支える活動を行うための基礎的な知識、技術、社会貢献の基礎を身に付けることができる。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 課題を的確に捉え、解決に向けて論理的に考えることができる。	・教材 ワークシート、講話、演習等	【思考力、判断力、表現力 等】 人とのかわりの中で、教え合い、自分の考えや判断を表現できている。	○	○	○	6
	【学びに向かう力、人間性 等】 学習を振り返り、自立・自律に役立てようとする。	・一人1台端末の活用（場面） 資料提示、調べ学習	【主体的に学習に取り組む態度】 社会貢献や自己を活かす気持ちを高めることができる。 自分の進路を主体的に考えていこうとする気持ちを高めることができる。				
	単元 10 伝え方学習	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 自分自身についてのより良い伝え方を身に付ける。	・指導事項 自己の能力・個性分析 等	【知識及び技能】 自分自身の能力や個性の分析法を理解し、的確な分析ができている。				
	【思考力、判断力、表現力 等】 書き伝える、話し伝える等の表現方法を工夫できる。	・教材 ワークシート、講話、演習等	【思考力、判断力、表現力 等】 自分の将来の職業や生き方に繋げて表現できている。	○	○	○	6
	【学びに向かう力、人間性 等】 学習を振り返り、自立・自律に役立てようとする。	・一人1台端末の活用（場面） 資料提示	【主体的に学習に取り組む態度】 社会貢献や自己を活かす気持ちを高めることができる。				